

TOTO

取扱説明書 保証書付

レストパルSX

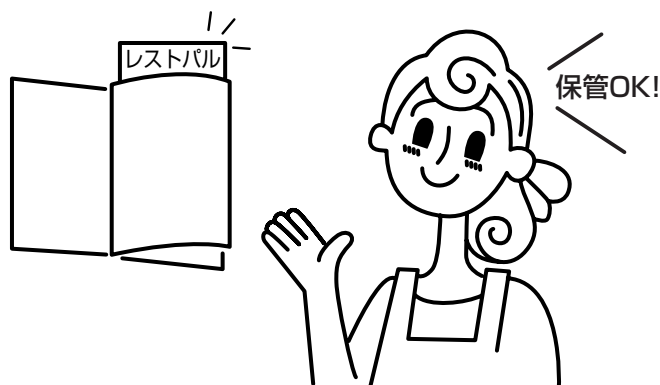
(大便器キャビネット部)

お客様へ

- このたびは、レストパルSXをお求めいただき、まことにありがとうございました。取扱説明書は大切に保存しておいてください。
- 添付の保証書には、お取付店名、お取付日、扱者印が記入してあることを確認してください。
- 器具を正しくお使いいただくためにご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- この取扱説明書は、保証書付ですので大切に保存しておいてください。
- ウォシュレットにつきましては、ウォシュレット用の取扱説明書をご覧ください。
- ◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

クリアファイルの使い方

同封のクリアファイルは、ウォシュレットやその他器具の取扱説明書などの保管用にご活用ください。



工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

- ① 安全上のご注意 2
- ② 使用上のご注意 5
- ③ 各部のなまえ 6
- ④ ご使用前の準備と確認 8

はじめに

- ⑤ 使いかた 9

使いかた

- ⑥ お手入れのしかた 12

お手入れ

- ⑦ 凍結による破損の予防及び
長期間使わないときの処置... 22
- ⑧ 定期点検のおすすめ 29
- ⑨ 故障かな?!と思ったら 31
- ⑩ 便器のQ&A 38
- ⑪ アフターサービス 40
- ⑫ 仕様 41
- ◎保証書

こんなときは

1 安全上のご注意

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

安全のために必ずお守りください

●表示と意味はつぎのようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
 分解禁止	⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず守る	❗ は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

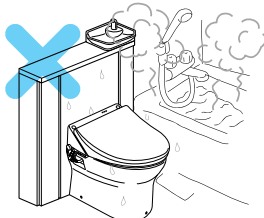
警告

浴室などの湿気の多い場所に設置しない

- 火災や感電の原因になります。
- キャビネットの変形の原因になります。



水場使用禁止

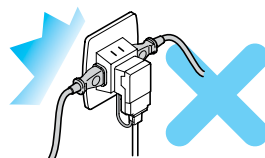


コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



禁止

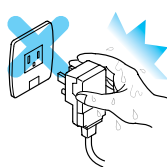


ぬれた手で、スイッチやコンセント部分、電源プラグにさわらない

- 感電の原因になります。



ぬれ手禁止



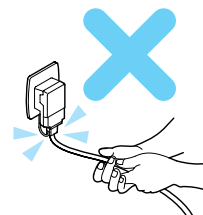
コンセント・電源プラグのコードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない

- 傷んだまま使用すると火災・感電・ショートの原因になります。



禁止

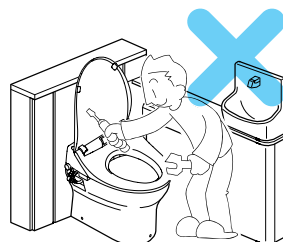


電気器具は絶対に分解したり、修理・改造は行わない

- 火災や感電の原因になります。



分解禁止



指定する電源（交流100V）以外では使用しない

- 火災の原因になります。



禁止

警告

コンセント・電源プラグに付いたほこりなどは取り除き、根元まで確実に差し込む

- 火災や感電の原因になります。
- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る

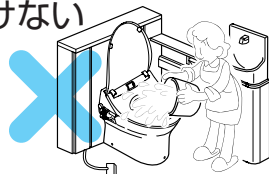


電気温水器本体や自動水栓の駆動部、スイッチ、コンセント、電源プラグに水や洗剤、小便をかけない

- 火災や感電の原因になります。



水かけ禁止

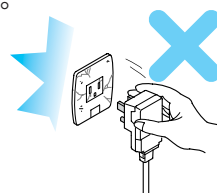


ガタついているコンセントは使わない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

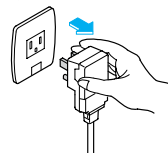


電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く

- コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



必ず守る



お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因になります。
- ※ 「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く



プラグ抜き励行

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



アース接地

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない

- 感電の原因になります。



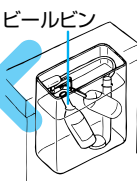
注意

ビールビン等の異物は、タンク内に入れない

- 水量が減少し、便器詰まり等になるおそれがあります。
- 内部の部品と干渉し、止水不良になるおそれがあります。



禁止

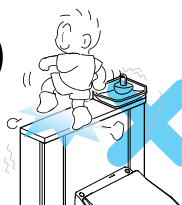


キャビネット、天板の上に乗ったり、重いものを乗せない

- 割れてけがをする原因になります。



禁止

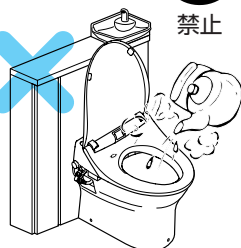


手洗器、キャビネット及び便器の鉢の中に熱湯をそそがない

- 手洗器、キャビネット及び便器が破損してケガの原因になることがあります。

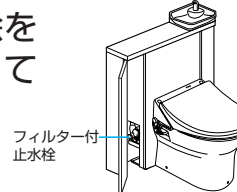


禁止



フィルター（ストレーナ）掃除をする時は必ず止水栓を閉めてから行う

フィルター（ストレーナ）を外す時は、事前に止水栓を閉めてください。



便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さない

- 便器がつまり、汚水があふれてくるおそれがあります。



新聞紙



禁止



紙おむつ
生理用品



くし
ボールペン



おもちゃ

⚠ 注意

I型手洗器では石けん類を使わない

- 止水不良になるおそれがあります。



便器がつまった場合、市販の吸引器で詰まりを除去する

- そのままの状態の水を流すと汚水があふれるおそれがあります。



前板パネル、天板、手洗器、カウンター及び陶器に衝撃を与えない

- 前板パネル、手洗器、カウンター、天板及び陶器が破損し、ケガ、漏水の原因になります。



キャビネット天板、カウンター、棚、タオル掛け、ハンドグリップにぶらさがらない

- カウンター、棚、タオル掛け、ハンドグリップがはずれてケガの原因になります。



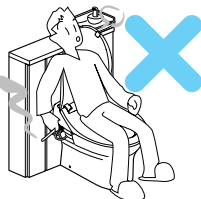
異常高温になる場所への設置はさける ストーブなど近づけない ように注意する ヘアドライヤーの熱風を 直接あてない

- 変形、変色の原因となります。



キャビネット、手洗器、カウンターにたばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。
- 変形、変色及び破損するおそれがあります。



キャビネット内に洗剤類を収納する場合には、必ずキャップを閉める

- 洗剤類の液漏れや気化ガスがキャビネット内を侵し、故障・腐食の原因になります。

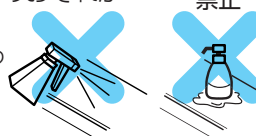


必ず守る



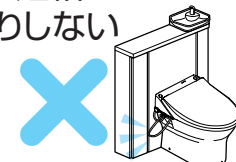
カウンターやキャビネットに消臭剤や芳香剤、石けんや洗剤などを噴霧したり、こぼしたりしない

- 表面材を侵し、ひび割れ・変色のおそれがあります。
- 万一付着した場合は、よく絞った柔らかい布などですみやかにふき取ってください。



ウォシュレット、手洗器の連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



手洗器のお手入れをするときは、酸性・アルカリ性の洗剤や薬品類は流さない

- タンク内の樹脂部材や手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



芳香洗淨剤などを使用しない

- タンク内の樹脂部材や手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



カウンター、キャビネットのお手入れをするときは、適量にうすめた台所用洗剤 (中性) を使用し、次のものは使わない

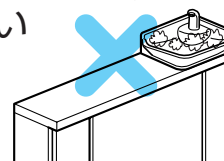
〔塩酸、強アルカリ性薬品、トイレ・バス用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロンたわしなど〕

- 表面に傷がついたり、変色や変質の原因になります。



手洗器の手洗鉢の中に芳香洗淨剤や飾りものなどを置かない

- 手洗鉢から水があふれるおそれがあります。



便器やタンク及び給水管や止水栓の表面に露が発生した場合、乾いた布で拭き取る

- 床にシミを作ったり腐らせたりするおそれがあります。

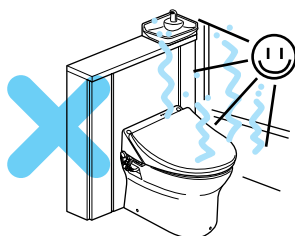


2 使用上の ご注意

次のことをお守りください。

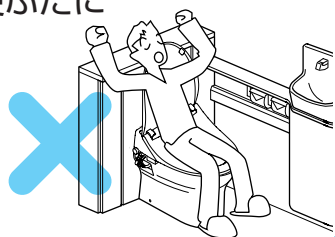
直射日光が当たらない ようにする

- 変色の原因になります。



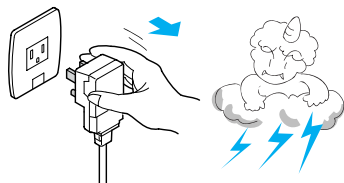
座ったまま後ろの便ふたに 寄りかからない

- キャビネットが傷つく原因になります。



落雷の可能性がある場合は、あらかじめ 電源プラグを抜く

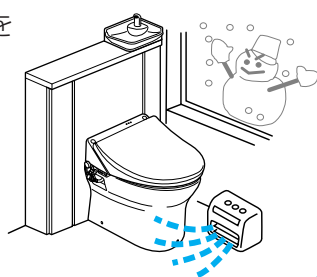
- 故障の原因になります。



凍結による破損の予防を行う

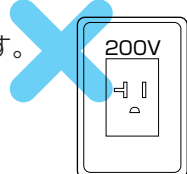
- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。

凍結が予想されるとき
22ページ

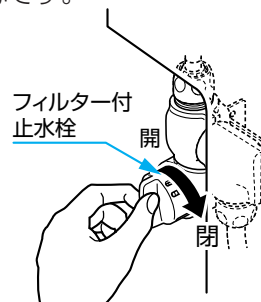


直流電源や交流200V 電源で使わない

- 火災・漏電・故障の原因になります。



長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。こうしておけば留守中に万一の故障も起きず安心です。



キャビネットは乾いた布やトイレット ペーパーなどでふかない

- 傷つきの原因になります。

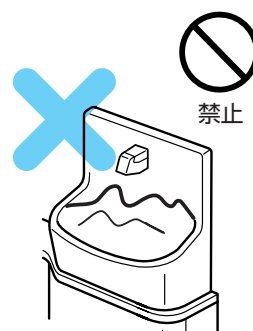
お手入れのしかた 12ページ

キャビネット天板にゴム製品を乗せない

- 材質によっては、ゴムの成分がキャビネット側にしみ出すことがありますので、ご注意ください。

自動水栓タイプの場合 センサーの感知領域内 に障害物が入らないよう にする

- 誤動作の原因になります。



吐水口をふさぐような ご使用は避ける

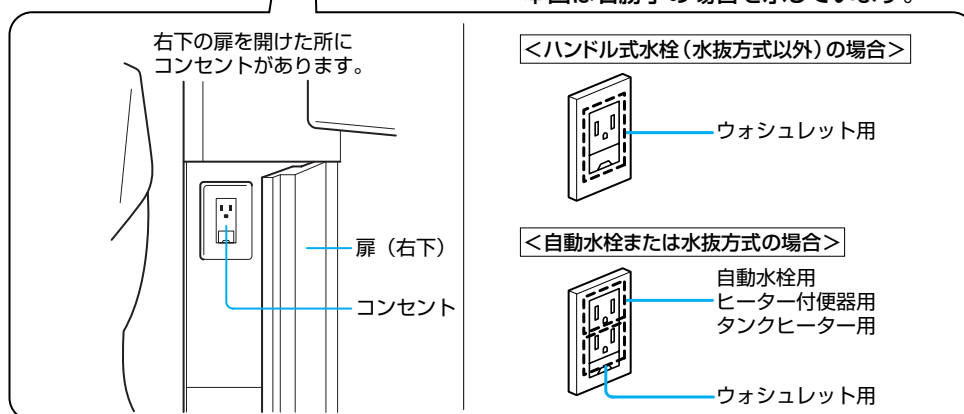
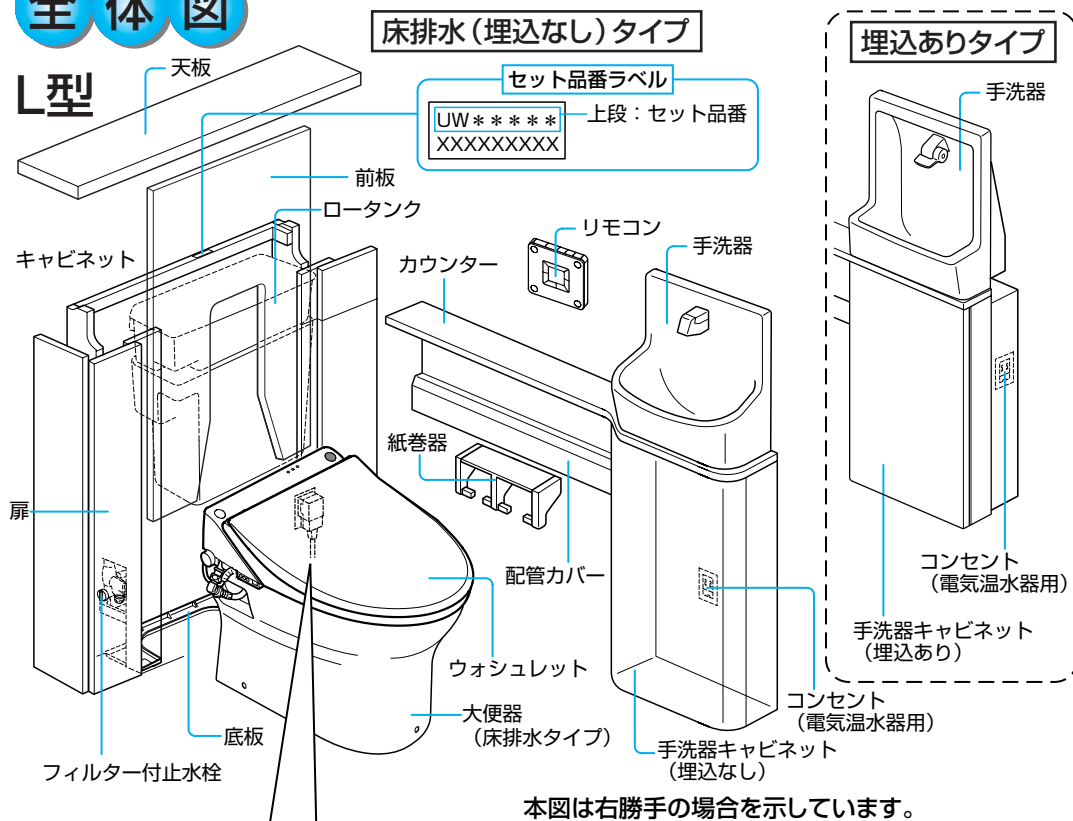
- スパウト部から水が浸入し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



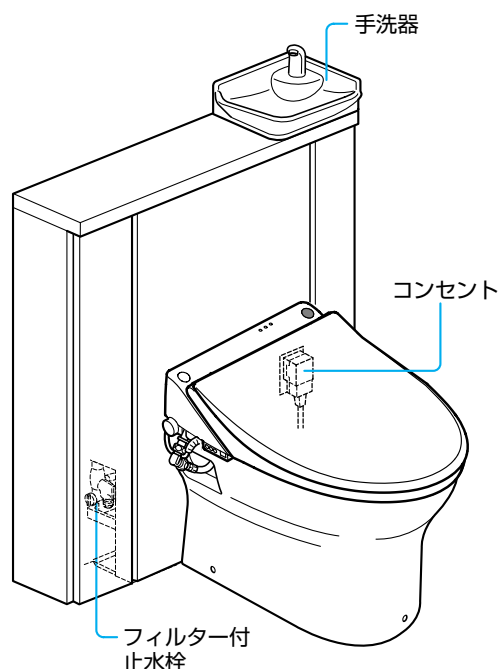
3 各部の なまえ

この頁で各部のなまえをよくご理解していただき、その後のご使用にお役立てください。

全体図

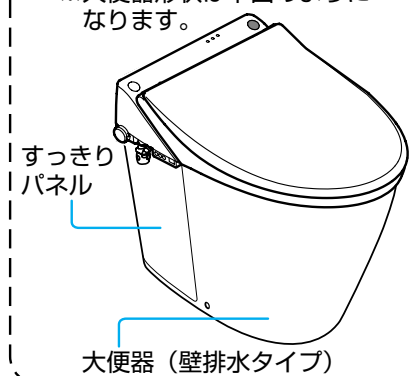


I型

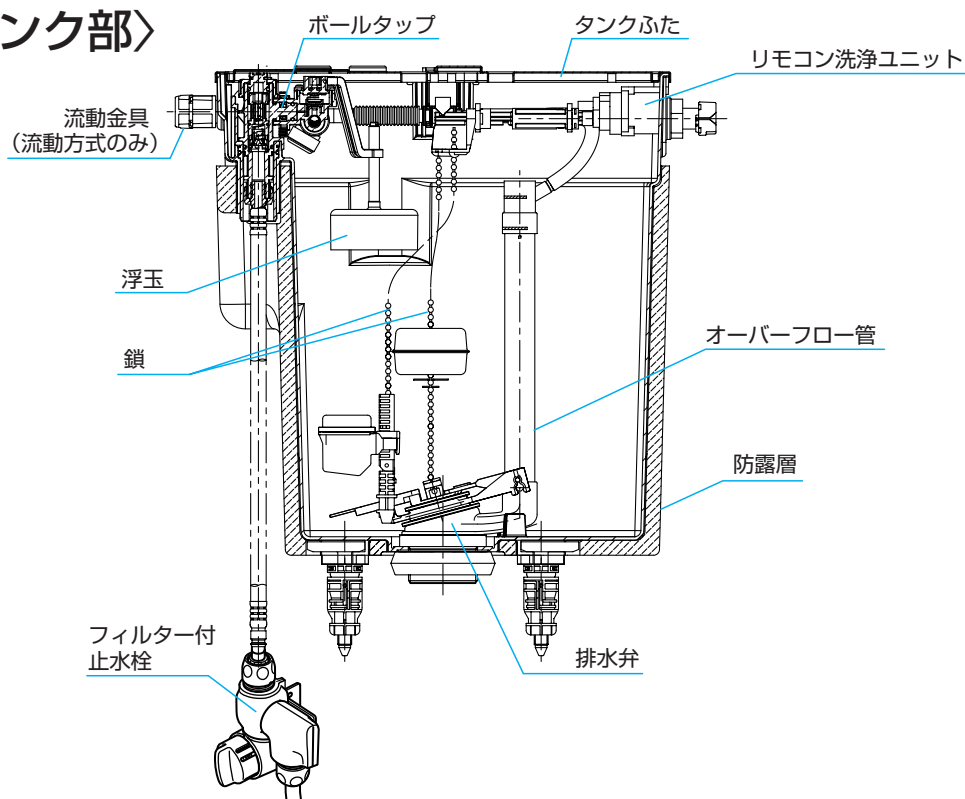


壁排水タイプ

※大便器形状は下図のようになります。



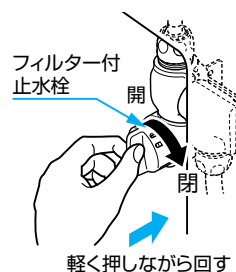
〈タンク部〉



■ 主要部分の役目

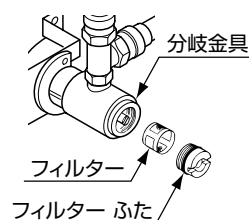
フィルター付止水栓

- 水道の水はここを通過してボールタップにいきます。止水栓はボールタップにいく水を止めることと、タンクへの流水量を調節する役目をします。



フィルター

- ボールタップ内の配管中にゴミ、砂などが入りますと、故障の原因になります。フィルターはゴミ、砂などを防ぐ役目をします。フィルターが詰まると、タンクに水を溜めるのに時間が長くなりますので掃除する必要があります。



ボールタップ

- 止水栓を通った水はここからタンクに入ります。ボールタップはタンクに入った水が、一定の高さまで溜まると浮玉の浮力によって自動的に水を止める役目をします。

排水弁

- タンクに溜まった水を便器に流したり、止めたりする弁の役目をします。

オーバーフロー管

- 万一ボールタップが故障して水が止まらなくなったとき、タンクからあふれる前に、ここから便器の方へ流す役目をします。

防露層

- 水温が低く、室温や湿度が高いときはタンクの表面に露が生じ、床へ流れ落ちることがあります。防露層はこのような露を防ぐ役目をします。

4 ご使用前の 準備と確認

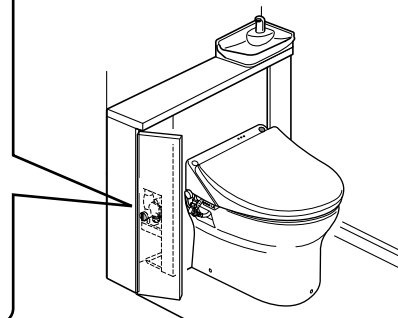
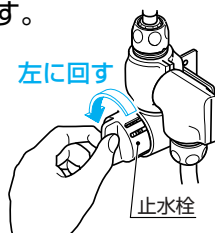
レストパルSXをはじめ
てお使いになると
きは、次の準備及び
確認を行ってくださ
い。

〈止水栓の確認〉

■ 止水栓が開いていることをご確認ください

- ・ ハンドルを軽く押しながら左に回すと止水栓が開きます。
- ・ 同様に右に回すと止水栓が閉まります。

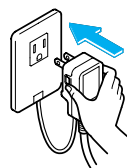
左に回す



〈電源プラグの確認〉

ウォシュレット用電源プラグ

- ・ コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

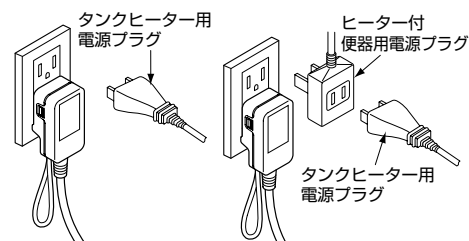


タンクヒーター用電源プラグ

〔寒冷地水抜方式の場合〕

- ・ 凍結が予想されるときは、タンクヒーター用電源プラグをコンセントに差し込みます。

(👍 7 凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置 22ページ)

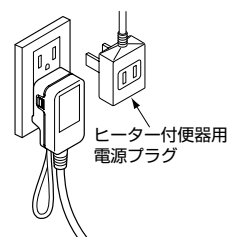


ヒーター付便器用電源プラグ

〔寒冷地水抜方式（ヒーター付便器併用）の場合〕

- ・ 凍結が予想されるときは、ヒーター付便器用電源プラグをコンセントに差し込みます。

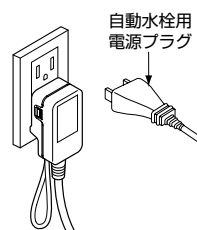
(👍 7 凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置 22ページ)



自動水栓用電源プラグ

〔自動水栓の場合〕

- ・ コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。



電気温水器用電源プラグ

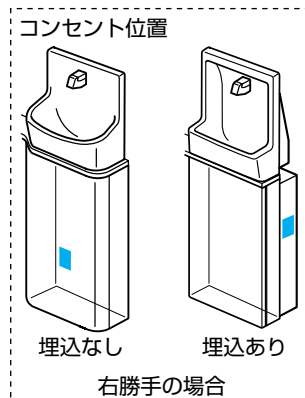
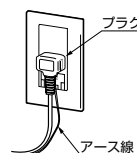
〔電気温水器付自動水栓の場合〕

- ・ 電気温水器の電源を入れる前に止水栓が開いていることを確認してください。

(👍 本ページ上段)

空焚きの原因になります。

- ・ 止水栓が開いていることを確認したら電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にします。
- ・ 詳しくは電気温水器付属の説明書をご参照ください。



5 使い方

〈大便器部〉

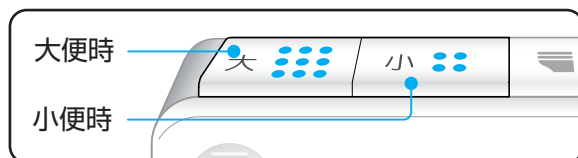
■水の流し方

水の流し方には、リモコン便器洗浄・オート便器洗浄があります。

●リモコン便器洗浄の使い方

リモコンのスイッチで大・小便を流すことができます。

アドバイス 1



●オート便器洗浄の使い方

便器から離れると自動で便器洗浄を行います（流し忘れを防止します）。ただし、ウォシュレットの機種によっては立って小便をした場合は、オート便器洗浄しません。リモコンで便器洗浄してください（ウォシュレットの機能については、ウォシュレット付属の取扱説明書をご参照ください）。

アドバイス 1

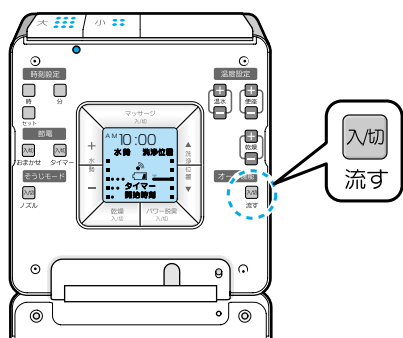
- 便器洗浄スイッチは連続して使うことはできません。次の洗浄まで約10秒お待ちください。

〈オート便器洗浄の設定方法〉

自動で便器洗浄をするとき

リモコンの **オート機能** **入/切** **流す** を1回押すとリモコン表示部に現在の設定が表示されます。オート機能リモコン表示部に **入 切** が表示されることを確認してください。

※スイッチを押すたびに **入 切** → **入 切** と表示が変わります。



＜リモコン表示部＞

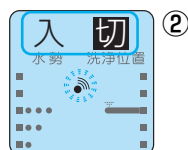
自動で便器洗浄をしないとき

①リモコンの **オート機能** **入/切** **流す** を1回押すとリモコン表示部に現在の設定が表示されます。

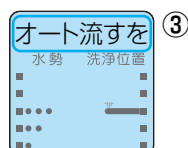


②もう1回押すと「入」から「切」に切り替わります。

※スイッチを押すたびに **入 切** → **入 切** と表示が変わります。

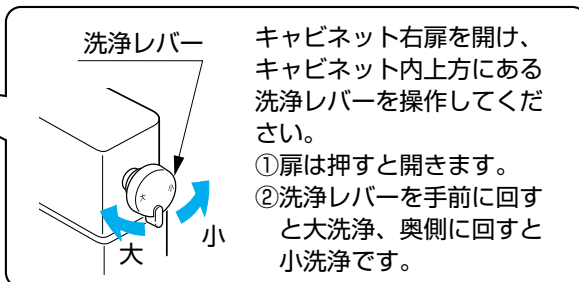
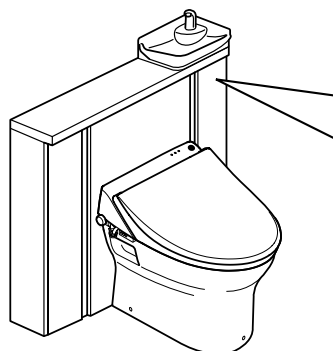


③リモコン表示部に「オート流すを解除しました」が表示されます。

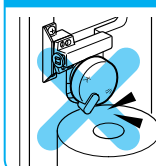


④再び使うときは、同じ操作を行ってください。

- 必ずタンク内が満水になってから流してください。
タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。
- 小便でも必ず水を流してください。
そのまま放置すると、小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。
- 停電やリモコンが電池切れのときは非常用洗浄レバーを回してください。



使用上のご注意

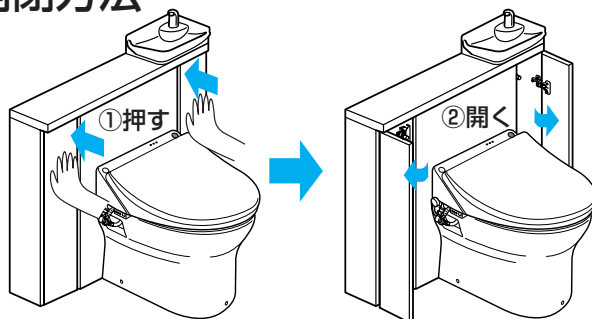


収納物が洗浄レバーに触れないようにする

- 収納物が洗浄レバーに干渉し、止水不良となるおそれがあります。

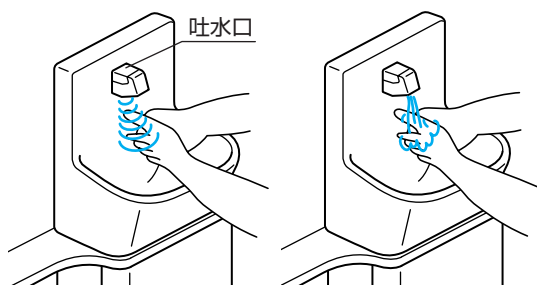
■ キャビネットの扉の開閉方法

大便器キャビネットの扉は押すと開きます。

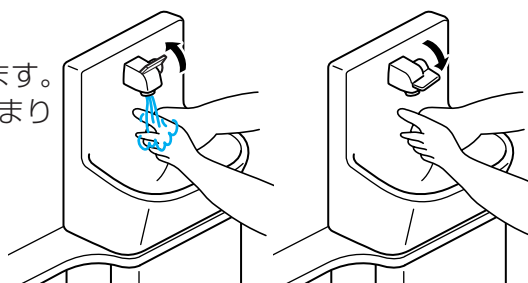


〈手洗器部〉

- 自動水栓の動作のしくみと使い方
 - ①吐水口に手を近づけると、センサーが感知し、水が出ます。
 - ②手を離すと1～2秒後に水が止まります。



- ハンドル式水栓の使い方
 - ①ハンドルを上に戻すと、水が出ます。
 - ②ハンドルを下に戻すと、水が止まります。



豆知識

水を連続して出したいときは

- ・センサーは手を動かさないでいると、約15秒間で自動的に止まります。
- ・水をためる場合など、続けて水を出したいときは、センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい板状の物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。



■ 電気温水器

電気温水器付属の取扱説明書をご参照ください。

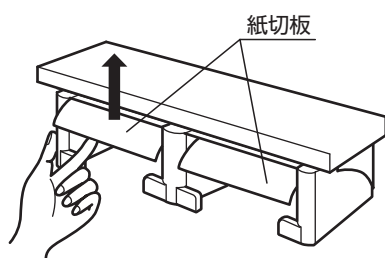
〈ウォシュレット部〉

ウォシュレット付属の取扱説明書をご参照ください。

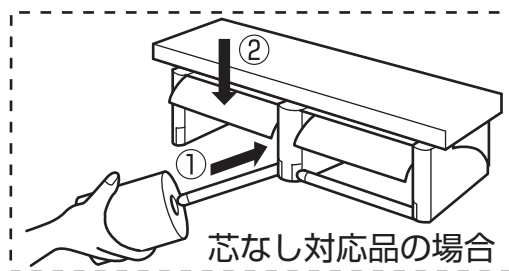
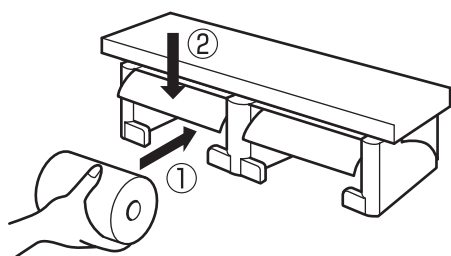
〈紙巻器〉

■ トイレットペーパーのセット方法 【フロントワンタッチ機能】

① 紙切板を上げてください。



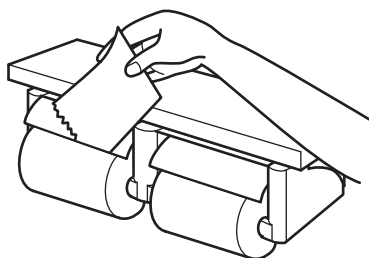
② トイレットペーパーをセットし、紙切板を下げてください。



■ トイレットペーパーのカット方法 【ワンハンドカット機能】

トイレットペーパーをつまみ、引き上げるだけでカットできます。

※トイレットペーパーの厚みや切り方により、切りにくい場合があります。



6 お手入れの しかた

いつまでも快適にご
使用いただくために、
定期的にお手入れを
してください。

床排水（埋込なし）タイプ

⑧便器とウォシュ
レットのすき間

①キャビネット、カウンター、手洗器

⑤水栓

⑨ウォシュレット

⑦床

④フィルター付止水栓

⑥電源プラグ

②大便器
（床排水タイプ）

壁排水タイプ

※大便器形状は下図のよう
になります。

③
すっきり
パネル

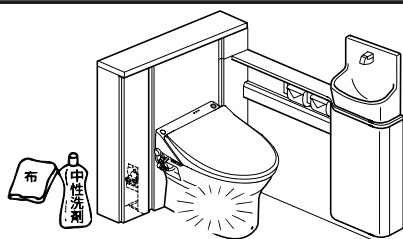
②大便器（壁排水タイプ）

埋込あり

⑩電気温水器

⑥電源
プラグ

① キャビネット、カウンター、手洗器のお手入れ



柔らかい布かスポンジに石けん又は、
台所用洗剤（中性）をつけて拭いて
ください。その後もう一度水ぶきし
てから、乾いた布で水分をきれいに
ふき取ってください。

② 大便器のお手入れ

- ◎ 便器用洗剤がキャビネット、カウンター、手洗器、ウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）に付着しないようご注意ください。

ワンポイントアドバイス

● 掃除用の洗剤について

【陶器本体の掃除】

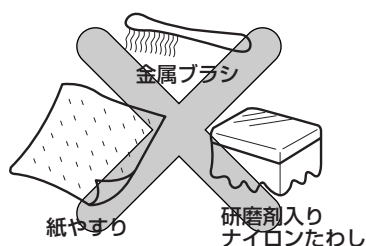
市販の家庭用洗剤であれば、酸性・中性・アルカリ性を問わずご使用になれます。ただし、研磨剤入りの洗剤や業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤には、陶器表面を傷つけたり、侵したりするものがありますので使用しないでください。

※TOTOトイレのクリーナー陶器用（14ページ参照）はご使用いただけます。



● 掃除用具について

金属ブラシや研磨剤入りのナイロンたわし、紙やすりなどは表面を傷つけますので使用しないでください。



① 便器の外表面は水ぶきする

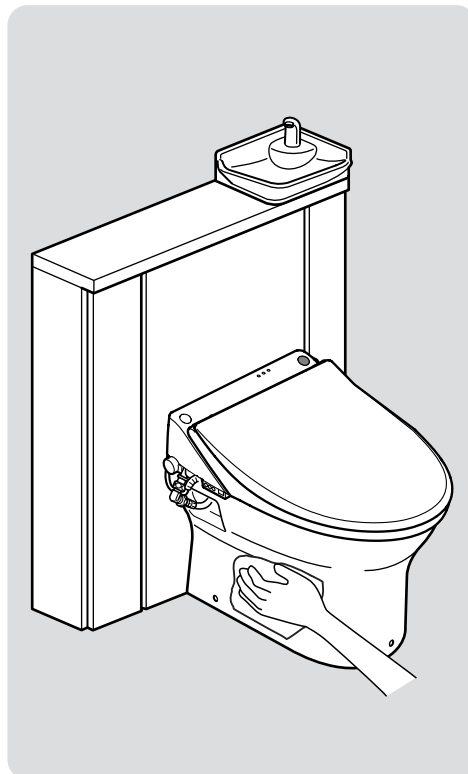
- 洗剤使用後は水ぶきを行ってください。

② 便器用洗剤がウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）に付着したときは…

- やわらかい布で水ぶきしてください。（プラスチックの割れや変色の原因になることがあります。）

③ ウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）のお手入れ

- ウォシュレット、すっきりパネルのお手入れをするときには、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用してください。次のものは使用しないよう、ご注意ください。（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、およびクレンザー、ナイロンたわしなど）



④ ヒーター付便器のときは…

- 便器にはヒーターを組込んでいますので便器や床に水をかけないでください。また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。

⑤ 便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流すとともに、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。（トイレ用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。）

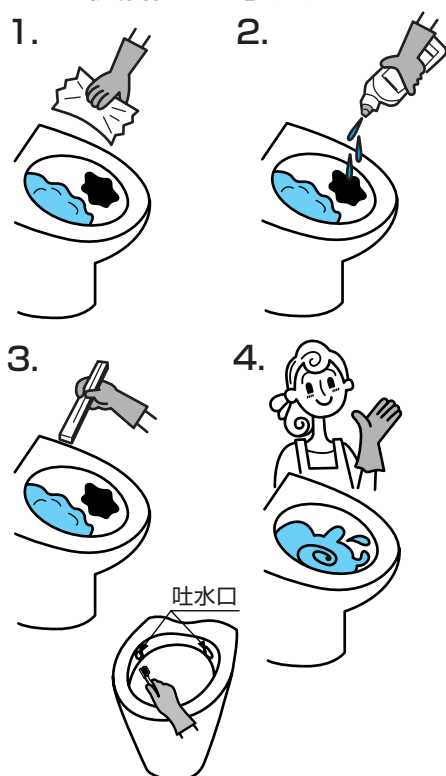
⑥ 日頃のお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。

日頃からこまめにお手入れをしてください。

また、セフィオンテクト品は汚れが付きにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日頃のお手入れが大切です。

便器のお手入れ



●軽い汚れの場合

掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●水あかなどしつこい汚れの場合

1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。
2. トイレ用洗剤を汚れに直接かけてください。
3. 掃除用ブラシやスポンジで、こすり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。
4. 最後に水洗いをしてください。

●吐水口まわりが汚れた場合

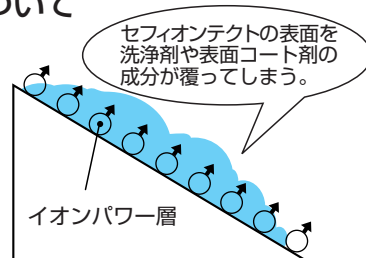
使い古しの子供用歯ブラシなどでお掃除してください。

ワンポイントアドバイス

●トイレ用芳香洗剤や表面コート剤について

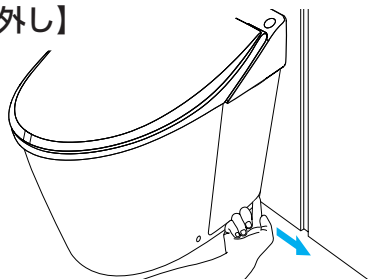
トイレ用芳香洗剤や表面コート剤はおすすめできません。

セフィオンテクトの場合、陶器表面を傷つけることはありませんが、洗剤成分やコート剤成分が表面を覆ってしまい、セフィオンテクトの効果が十分発揮できなくなるおそれがあります。



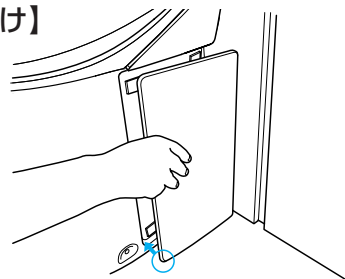
③ すっきりパネル（壁排水タイプのみ）の取り外し、および取り付け

【取り外し】



すっきりパネルの後方下端に指をかけ、手前に引いて取り外す。

【取り付け】



すっきりパネルの前方下端を基準にして、便器に取り付ける。

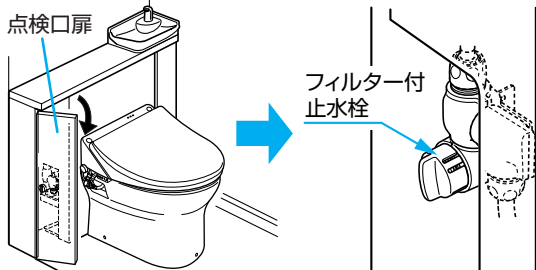
④ フィルター（ストレーナ）の掃除

フィルター（ストレーナ）が詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。

その際は、次の要領でフィルター（ストレーナ）の掃除を行ってください。

フィルター（ストレーナ）の掃除手順

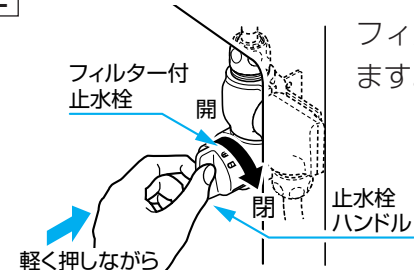
- 1



点検口扉

フィルター付 止水栓

キャビネット左下の扉を開いてください。扉を奥側に押すと開くようになっています。
- 2



フィルター付 止水栓

止水栓 ハンドル

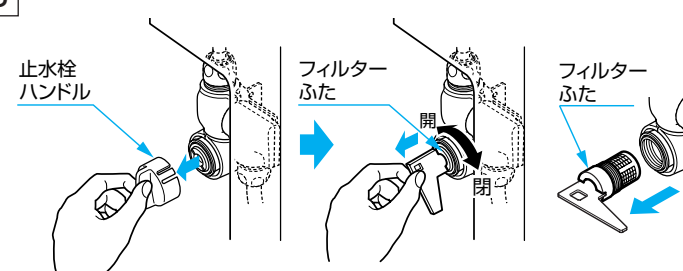
軽く押しながら 回す

フィルター付 止水栓を付属の止水栓ハンドルで閉めます。（回転しなくなるまで完全に回してください）

⚠ 注 意

止水栓を開けたままで、フィルター（ストレーナ）をはずさない
● 水が噴出します。

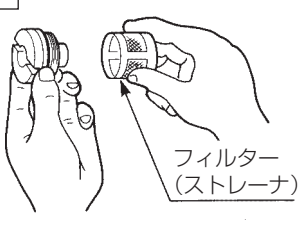
禁止
- 3



止水栓 ハンドル

フィルター ふた

① 止水栓ハンドルを引っぱり、外します。
② フィルターふたを付属の開閉工具または、大きめのマイナスドライバーで外します。
- 4



フィルター（ストレーナ）

① フィルター（ストレーナ）を取り出してブラシなどで掃除し水洗いします。
② フィルター（ストレーナ）をもとの位置にもどし、ふたを取り付けます。
③ 止水栓ハンドルを取り付けます。
④ 適正な吐水量にフィルター付止水栓を回し調整します。（止水栓の調節方法は7ページをご覧ください。）
- 5

①と逆の手順で扉を閉めてください。

⑤ 水栓のお手入れ

布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、スパウトおよびセンサー部の汚れをふき取ってください。



●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてください。

水栓金具用蛇口まわりのクリーナーでの手入れ

スパウトの表面に付着した水あかなどの汚れ落としには、スパウトに傷をつけずに汚れを効果的に除去できる水栓金具用蛇口まわりのクリーナーのご使用をお勧めします。

お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター(電話番号は裏表紙を参照ください)にお尋ねください。

品番: ENL600

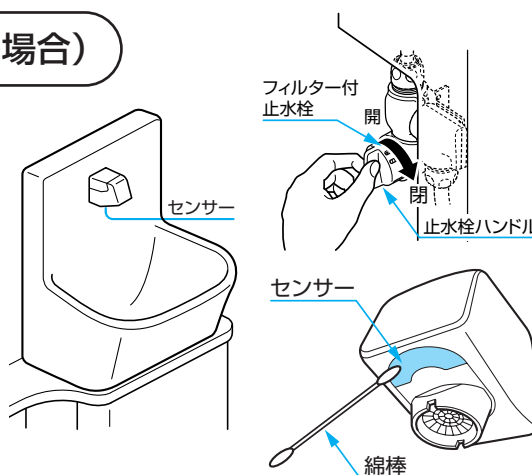
容量: 200ml

※仕様・品番は改定する場合がありますのでご了承ください。

センサーの手入れ(自動水栓の場合)

1. 止水栓を閉める。
2. 水またはぬるま湯に浸した綿棒で、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合、適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた綿棒で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてください。

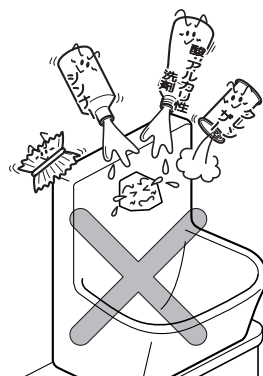
お手入れの際は、センサー面を傷つけないようにご注意ください。



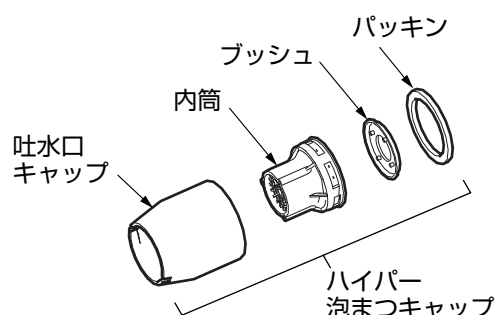
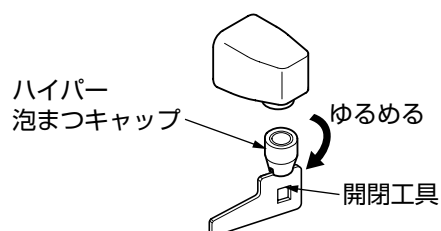
お願い

スパウトの表面を傷つけるものは使用しないでください。

- 水栓金具用蛇口まわりのクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



ハイパー泡まつキャップのお手入れ



1. 止水栓を止水栓ハンドルで閉める。
2. ハイパー泡まつキャップを付属の開閉工具で外す。

泡まつキャップを外す際に、開閉工具にてセンサー面を傷つけないようにご注意ください。

3. パッキンを先端の細い針金などで取り外す。
4. ブッシュ(白色)を取り外し、内筒を取り出す。
5. 内筒の小穴にごみなどがいないか確認する。
6. ごみなどが小穴を塞いでいる場合は、針のような先端の尖ったもので取り除く。
7. 吐水口キャップに内筒・ブッシュ・パッキンの順に入れ、取り付ける。

泡まつキャップは手で締め付け、固くなった位置から約90° 開閉工具で締め付けてください。

△ 注意



必ず守る

パッキンは必ず吐水口キャップ内の溝に挿入する
● 水漏れの原因になります。

⑥ 電源プラグのお手入れ

⚠ 警告

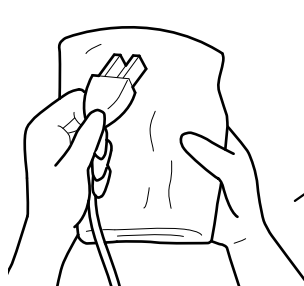


必ずコンセントより抜いてから行う
●感電の原因になります。

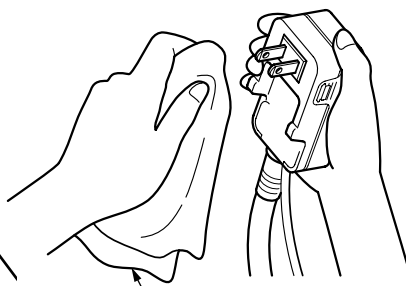
必ず守る

- 電源プラグは以下のものがあります。各プラグのお手入れの際は、プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

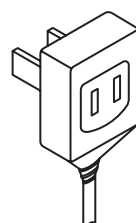
※電源プラグの設置位置 (👉 ③ 各部のなまえ 6ページ)



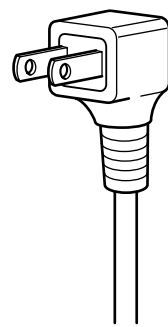
自動水栓用・
タンクヒーター
(水抜方式) 用



かわいた布
ウォシュレット用



ヒーター付
便器用
(水抜方式)



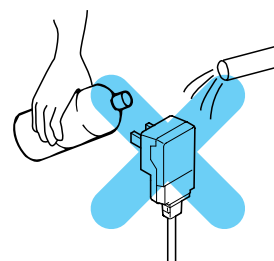
電気温水器用

⚠ 警告



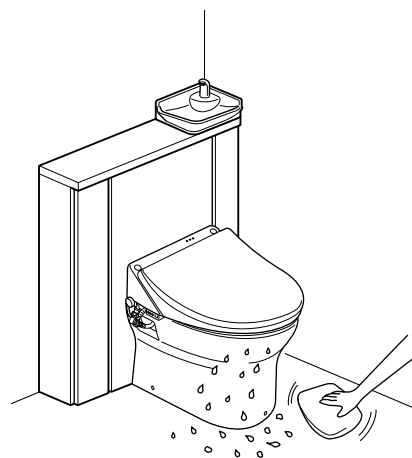
禁止

水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤
およびシンナーなどは使用しない
●火災や感電、故障(損傷)の原因になります。



⑦ 床のお手入れ

- 便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。
- お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。



ご注意ください！



必ず守る

床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんで
ふき取ってください。

放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。

⑧ 大便器とウォシュレットのすき間のお手入れ

ウォシュレット本体をはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。
月に一度が目安です。

ウォシュレットの取りはずしかた

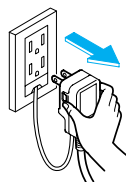
① 電源プラグを抜く

※ウォシュレット本体を取りはずす前に安全のため
電源プラグを抜いてください。

また、抜いた電源プラグに水がかからないように
してください。

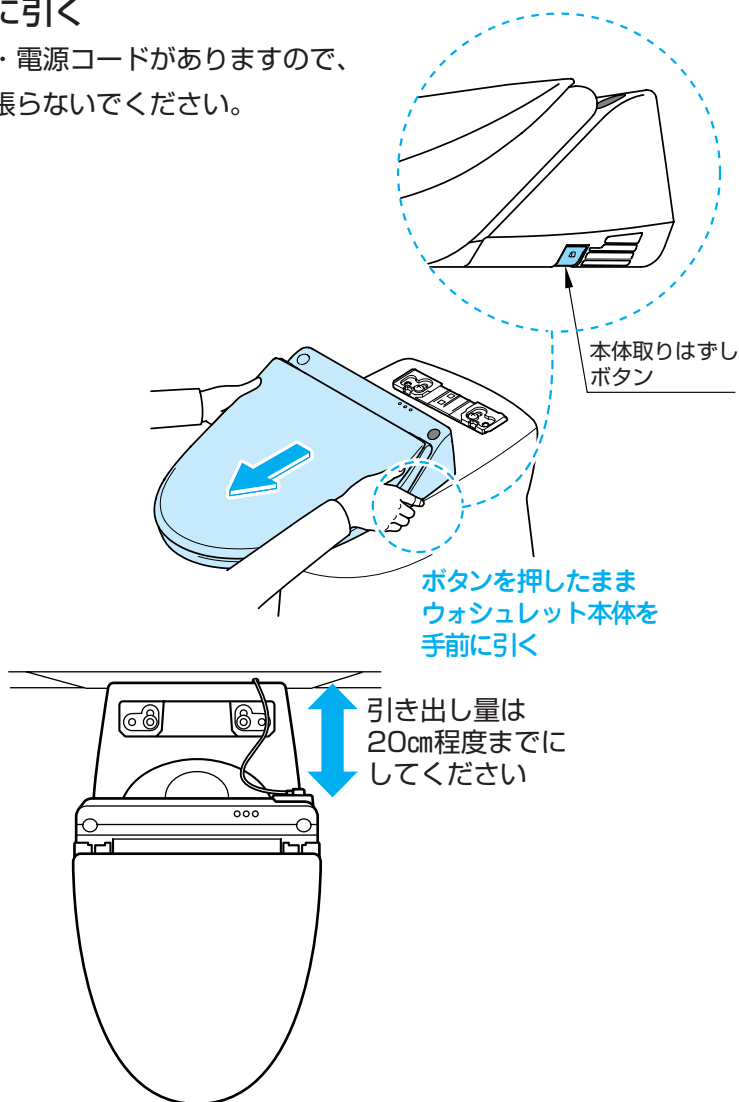
※電源プラグはキャビネット内にあります。

電源プラグの設置位置 (👉 ③ 各部のなまえ 6ページ)



② ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、 本体を手前に引く

※給水ホース・電源コードがありますので、
無理に引っ張らないでください。



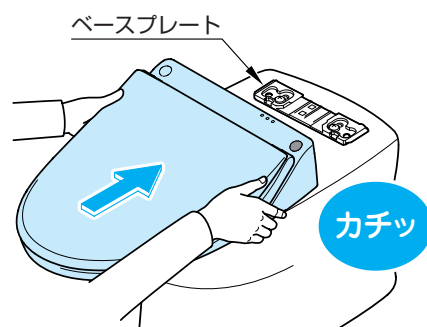
③ 掃除をする



お手入れのしかたの詳細は、ウォシュレットの取扱
説明書内の「日常のお手入れ」、**念入りなお手入れ**
をご覧ください。

ウォシュレットの取り付けかた

- ①ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる



- ②コードやホースをキャビネットの中に収めながら、便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

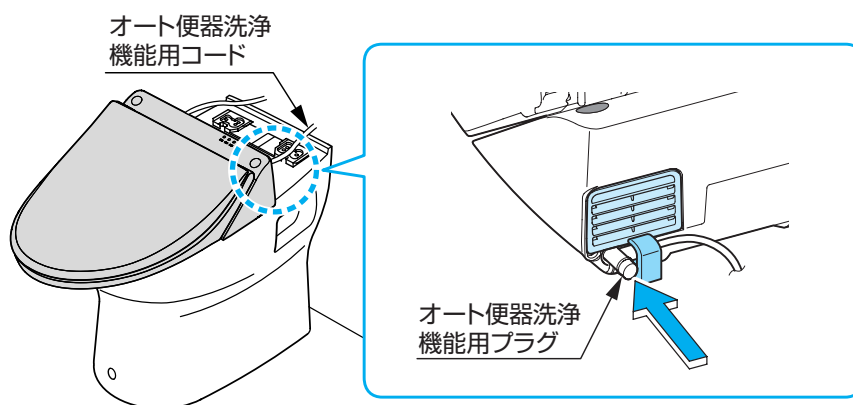
※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

※引き出したコード、ホースをキャビネットの中におさめる際は以下の点にご注意ください。

- ① オート便器洗浄機能用プラグの接続確認

オート便器洗浄機能用プラグ（ロータンクに付属）を図の矢印方向に押し、奥まで差し込まれていることを確認する。

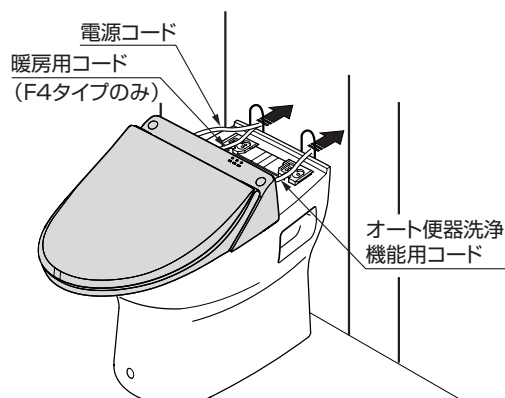
※正しく差し込まれていないとオート便器洗浄・リモコン便器洗浄ができなくなります。



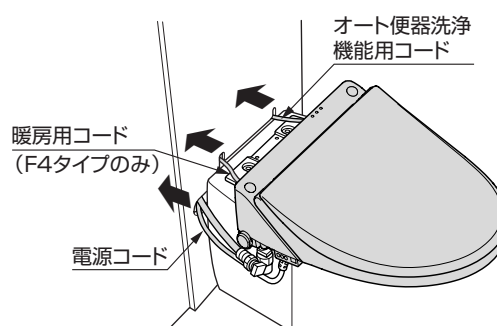
- ② コードをおさめる

前板切欠き部よりコードを押し込んでおさめる。

〈床排水タイプの場合〉



〈壁排水タイプの場合〉

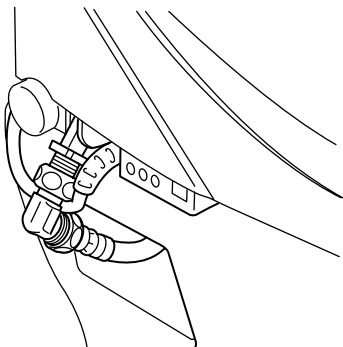


③ ホースをおさめる

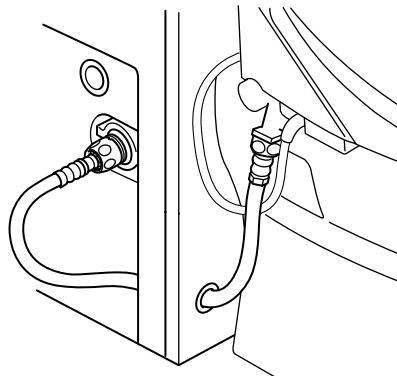
ホースが折れないように注意しながら、たるまない程度にキャビネットの中に入れ込んでおさめる。

〈床排水タイプの場合〉

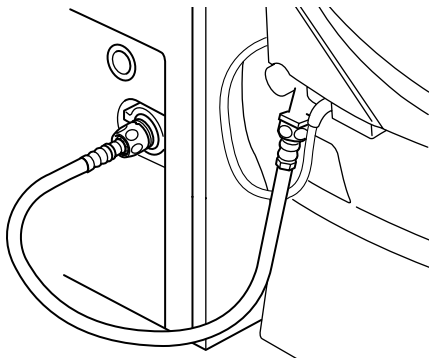
一般地・流動方式



水抜方式

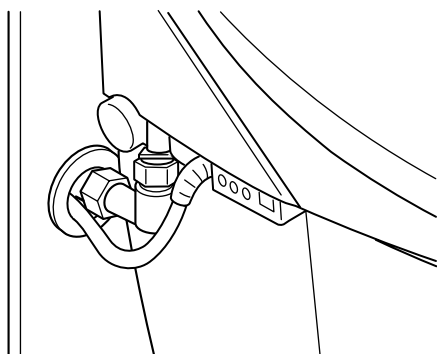


水抜方式（左側にアームレストがある場合）



※この場合はホースを入れ込む必要はありません。

〈壁排水タイプの場合〉



③ 電源プラグを差し込む

⑨ ウォシュレットのお手入れ

ウォシュレットの梱包箱に同梱されているウォシュレットの取扱説明書内「お手入れのしかた」をご覧ください。

⑩ 電気温水器のお手入れ

電気温水器の梱包箱に同梱されている電気温水器の取扱説明書内「お手入れについて」をご覧ください。

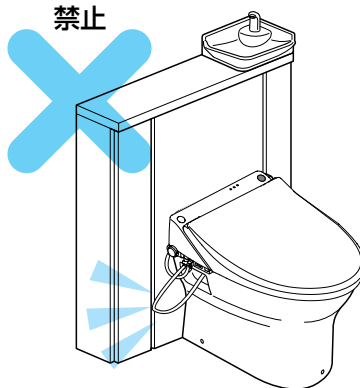
⚠ 注意

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止



7

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置

凍結が予想されるときや長期間使わないときは、次の凍結予防の処置を行ってください。

凍結が予想されるとき

- ◎ 製品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
 - ◎ 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

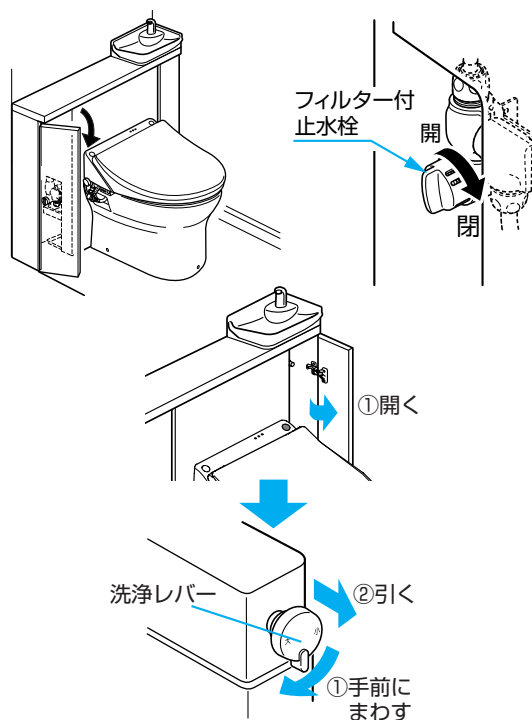
〈大便器・ロータンク部〉

●大便器・ロータンク部の凍結予防限界温度は、下表の通りです。

水抜方式（室内暖房併用）	0℃
水抜方式（ヒーター付便器併用）	-15℃
流動方式	-10℃

■水を抜く場合（水抜方式）

■事前に、水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓を操作し、給水を止めてください。

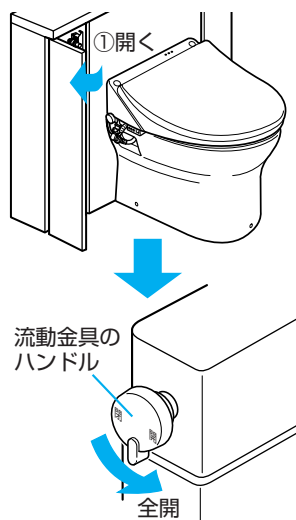


- ① キャビネット右扉を開ける。
（扉を押すと開きます）
- ② タンクヒーター用プラグ・便器ヒーター用プラグ（ヒーター付便器の場合）を、キャビネット内下方にあるコンセントに差し込む。
- ③ キャビネット内上方にある洗浄レバーを、手前側（矢印の方向）いっぱい回したまま外側に引くと、レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける。

水抜き後の再通水

再び使用する前には洗浄レバーを内側に押し込んで下向きにし、水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする。

■水を流し続ける場合（流動方式）



- ① キャビネット左扉を開ける。
- ② タンク左横に取付けてある流動金具のハンドルを全開にする。
- ③ 便ふたを閉めておく。
※便ふたを閉めない場合、便器に氷がはり、1回の洗浄で氷が流れていかない場合があります。

〈ウォシュレット部〉

●ウォシュレット部の凍結予防限界温度は0℃です。

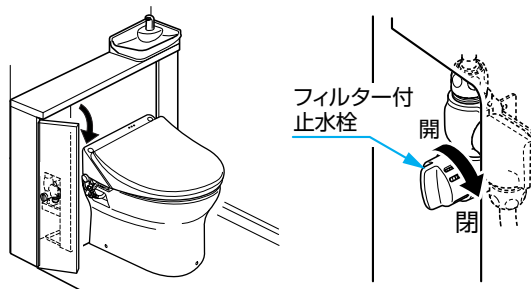
ご注意ください！

- 凍結予防の作業前には、**オート機能** 入切 ふた開閉 **オート機能** 入切 流す を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。
- 節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。節電機能の解除のしかたについては、ウォシュレット付属の取扱説明書をご参照ください。

■ 水抜きのかた

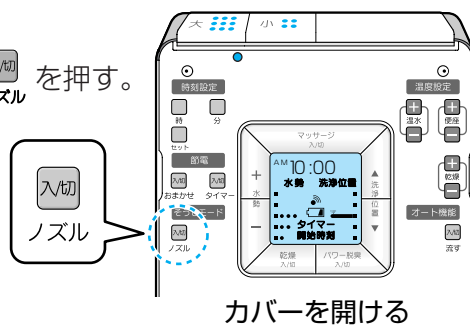
1 給水を止める

水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓を操作して給水を止める

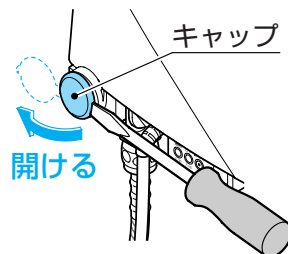


2 配管の水を抜く

- ① リモコンのカバーを開けて **そうじモード** 入切 ノズル を押す。
(ウォシュレット内部の残水を抜きます。)



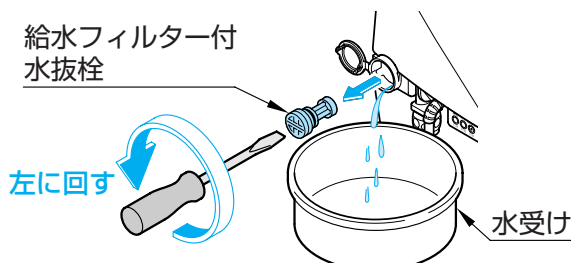
- ② キャップ（灰色）を⊖ドライバーで開ける。



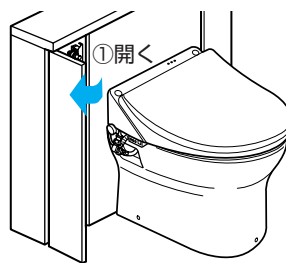
- ③ 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす。

注 意

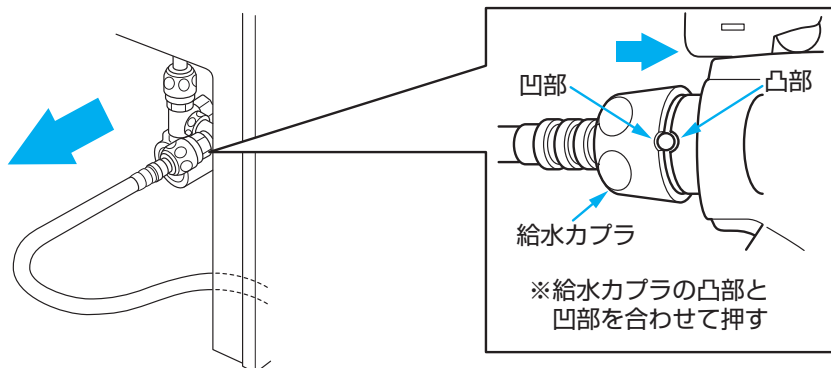
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
●水が噴出します。



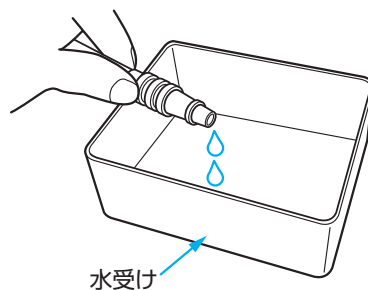
- ④ キャビネットの左扉を開ける。



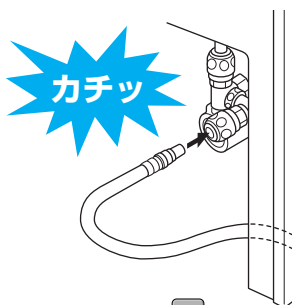
- ⑤ 分岐金具からウォシュレット給水ホースを抜く。



- ⑥ 水受けでウォシュレット給水ホース内の水を受け止め、ホース内の水を抜く。



- ⑦ 再びウォシュレット給水ホースを給水カプラにつなぐ。



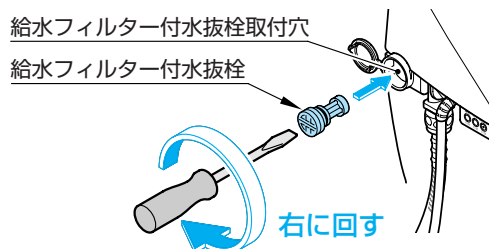
⚠ 注意



カチッと音がするまで
きっちりと差し込む
● 漏水のため家財に損害を
与えるおそれがあります。

- ⑧ もう一度 **「そうじモード」** 入切 ノズル を押す。
(ノズルを元に戻します)

- ⑨ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める。



⚠ 注意

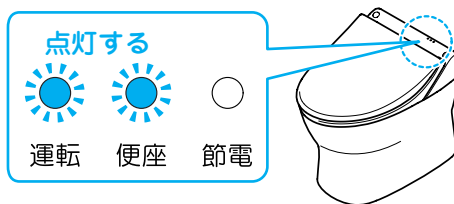


給水フィルター付止水栓
は確実に締める
● 確実に締めないと水漏れ
の原因になります。

- ⑩ キャップ（灰色）とリモコンのカバーを閉める。

3 ウォシュレット内を保温する

- ① ウォシュレット本体の 運転
入/切 が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にする。



- ② 便ふたを閉める。

〈手洗器部〉

- 手洗器部の凍結予防限界温度は、右表の通りです。
- 自動水栓の場合、水抜きや水を流し続けることができませんので、トイレ内の暖房などをして周囲の温度が氷点下以下にならないようにしてください。

水抜き方式	0℃
流動方式	-10℃

■水を抜く場合（水抜き方式）

- 事前に、手洗器給水管用の水抜き栓（他社製品）を排水（水抜き）側に切替えてください。

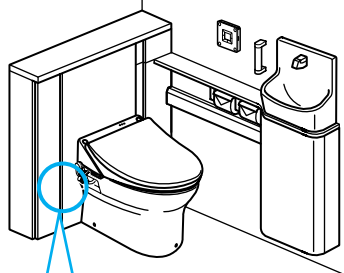
- ① 水栓のハンドルを開にする。
- ② 水を抜き終わったら、水栓ハンドルを閉める。



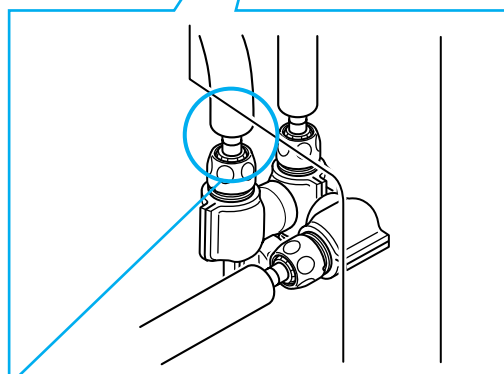
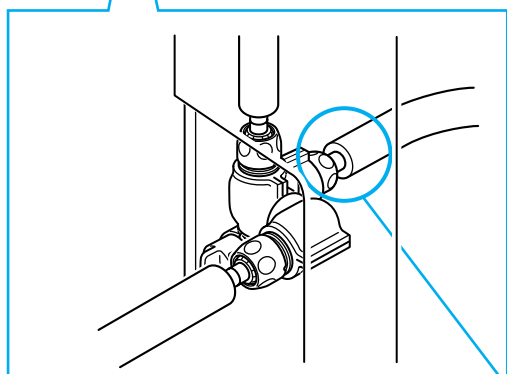
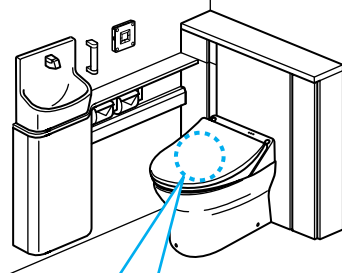
水抜き後の再通水

※再通水した際にハンドル式水栓の水が出ないときは、キャビネット左扉をあけてホースと給水カプラの連結部をお湯に浸した布であたためてください。

〈L型右勝手の場合〉



〈L型左勝手の場合〉



ここを温めて下さい。

■水を流し続ける場合（流動方式）

水栓ハンドルを開にして、少量の水を流し続けてください。

アドバイス 1

【水抜きをしましょう!】

- 冬季に帰省されるとき
- 別荘などで使用されるとき

冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

長期間使わないときの処置

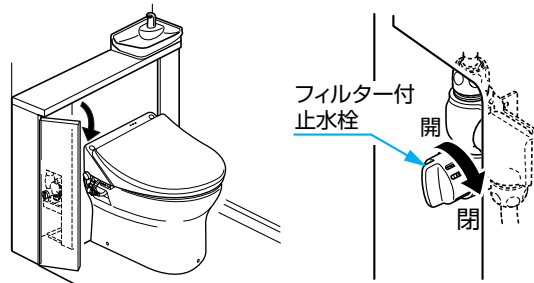
水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。
また、製品が破損するおそれがありますので水抜きを行ってください。

アドバイス 1

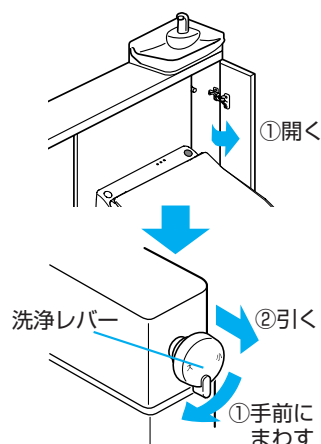
〈大便器・ロータンク部〉

■ 水抜きのしかた

■ 事前に、水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓を操作し、給水を止めてください。



- ① キャビネット右扉を開ける。
(扉を押すと開きます)
- ② タンクヒーター用プラグ・便器ヒーター用プラグ（ヒーター付便器の場合）を、キャビネット内下方にあるコンセントから抜く
- ③ キャビネット内上方にある洗浄レバーを、手前側（矢印の方向）いっぱい回したまま外側に引くと、レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける。
- ④ 便器に不凍液を入れる。



〈ウォシュレット部〉

■ 水抜きのしかた

1 給水を止める



凍結が予想されるとき 〈ウォシュレット部〉

水抜きのしかた 1 給水を止める 23ページ

2 配管の水を抜く



凍結が予想されるとき 〈ウォシュレット部〉

水抜きのしかた 2 配管の水を抜く 23ページ

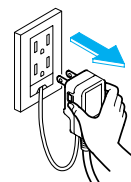
3 ウォシュレット本体を取りはずす

- ① ウォシュレットの電源プラグを抜く。

※ウォシュレット本体を取りはずす前に安全のため電源プラグを抜いてください。

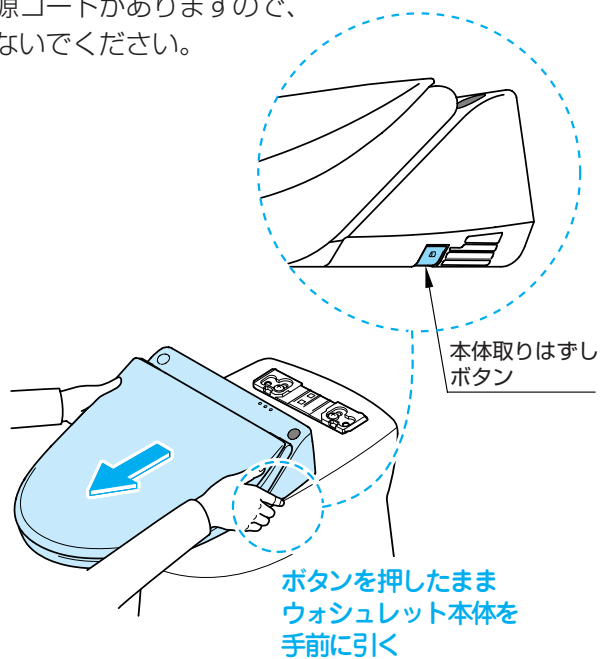
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。

(電源プラグの確認 8ページ)



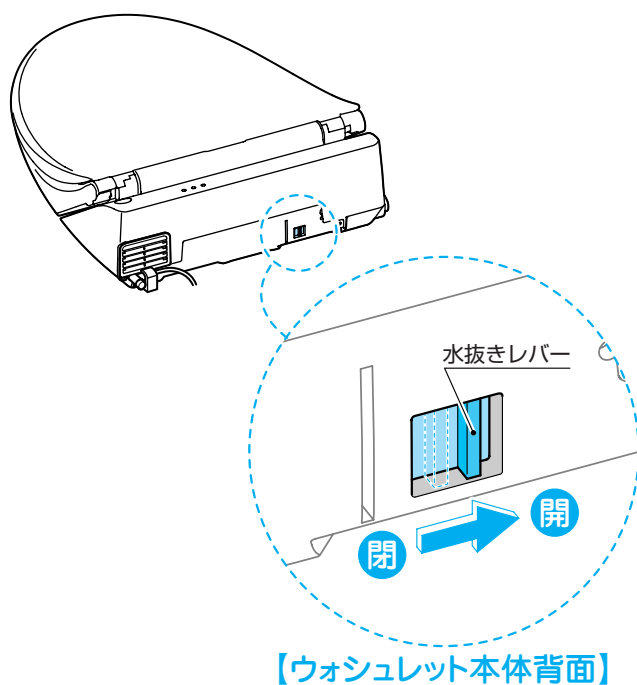
- ② ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く。

※給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。



4 ウォシュレット本体内の水を抜く

- ① 水抜きレバーを「開」位置にしてウォシュレット本体内の水を抜く。
- ウォシュレット本体下側から水（約40ml）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
 - 水抜きレバーを押している途中にノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。
- ※ウォシュレット本体下側および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。



- ② 手を離し水抜きレバーを「閉」の位置に戻す。

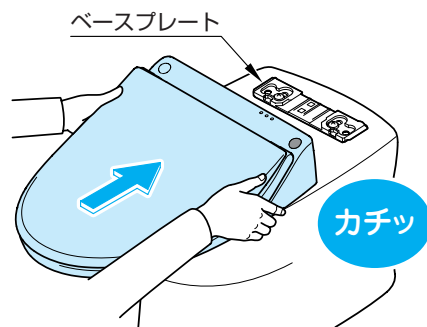
5 ウォシュレット本体を取り付ける

① ウォシュレット本体の中心とベースプレート
の中心を合わせる。

② 便器面にウォシュレット本体をすべらせて
「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む。

※ウォシュレット本体をベースプレートに確
実に押し込まないとウォシュレットは作動しま
せん。

※引き出したコードやホースをキャビネット内
におさめる際に、折れないように注意してく
ださい。



👍 ⑥ お手入れのしかた ⑧ 大便器とウォシュレットのすき間のお手入れ 19ページ

6 電源プラグを抜く

👍 電源プラグの確認 8ページ

水抜き後に再通水するとき

① 止水栓を開ける。

👍 止水栓の確認 8ページ

② 電源プラグをコンセントに差し込む。

👍 電源プラグの確認 8ページ

③ ノズルから吐水させる。

着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押してノズルから約2分
間吐水させる。

〔 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯を浸した
布で給水ホースおよび止水栓をあたためてください。 〕

〈手洗器部〉

■ 水抜きのしかた

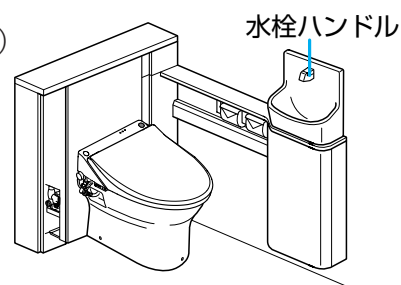
※自動水栓の場合、水抜きは出来ません。

■ 事前に、手洗器給水管用の水抜栓（他社製品）
を排水（水抜）側に切替えてください。
（水抜方式の場合）

① 水栓ハンドルを開にする。

② 水を抜き終わったら、水栓ハンドルを閉める。

③ 手洗器の排水トラップに不凍液を入れる。



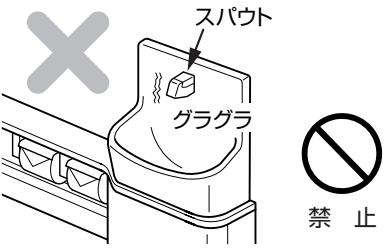
8

定期点検の おすすめ

■ 漏水などの事故を未然に防ぐために、定期的に以下の点検を行ってください。



定期的に、キャビネット扉を開け、配管の周り（キャビネット内）を見て、水漏れがないか確認してください。
（部品の劣化、摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。）



手洗器にセットされているスパウトの固定がゆるんだまま使用しない。
（L型のみ）
● スパウトの固定がゆるんだまま使用すると漏水の原因となります。

漏水や、水栓のゆるみを発見された場合には、15ページの要領（フィルターの掃除）でフィルター付止水栓を止め、お取付け工事店、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センター フリーダイヤル 0120-1010-05に修理を依頼してください。

〈フィルターの詰まり〉

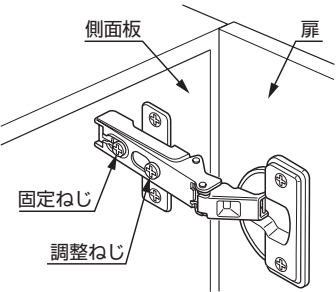
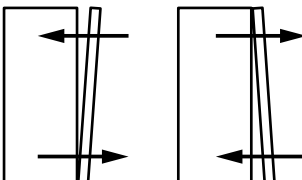
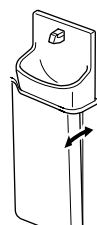
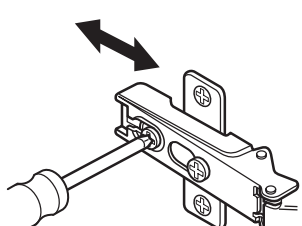
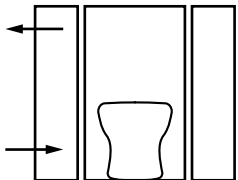
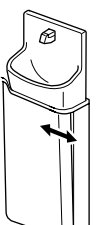
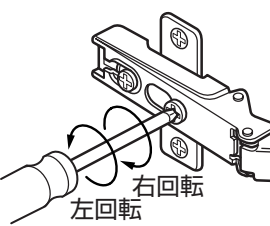
点検の目安：1回／半年

◎ フィルターが詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。

その際は、フィルターの掃除を行ってください。  15ページ

＜扉の調整方法＞

キャビネットの扉が長年の使用で隙間が不均一になったときは次の要領で調整してください。

扉がゆるんだ時	前後調整	左右調整
 丁番の固定ねじを締めてください。	＜大便器キャビネット＞  ＜手洗器キャビネット (L型の場合のみ)＞  丁番の固定ねじをゆるめ、丁番を前後にずらして調整した後、締め直してください。 	＜大便器キャビネット＞ 図のような場合 上は左回し 下は右回し  ＜手洗器キャビネット (L型の場合のみ)＞  調整ねじをまわして左右調整してください。 

9 故障かな？！ と思ったら

〈大便器部〉

- ◎ 簡単に直らない故障の場合は、故障の状態をご確認の上、お取付工事店か役所の指定工事店に修理を依頼してください。
- ◎ 指定工事店がわからないときは役所の上下水道担当窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったらまずこの章をご覧ください。
になり、処置方法をた
めしてみてください。
それでも直らないと
きは、お取付け工事
店・販売店または
TOTOメンテナンス
(株) 修理受付センタ
ーにご相談してくだ
さい。

■ 修理を依頼される前に

- ◎ 大便器には、水が止まらない、タンクに水が溜まらないなどの故障がときとして起こる場合があります。むずかしい故障は専門の工事店さんに任せるとしても、まず診断して、簡単な故障はご家庭で修理されてはいかがでしょうか。
- ◎ ご家庭で修理される場合は、下記①～④の操作後に次ページ以降の表にしたがい修理してください。

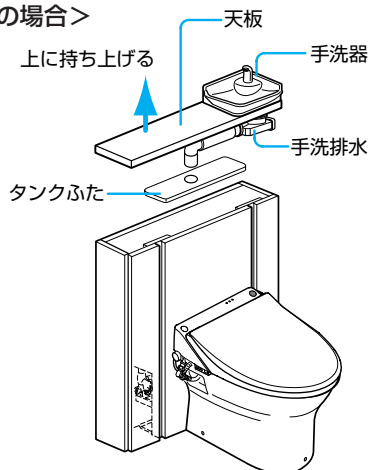
① キャビネット左扉を開けて止水栓を閉める。

※「フィルター（ストレーナ）の掃除手順」15ページを参照してください。

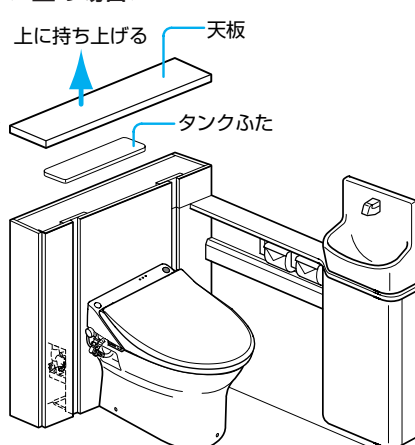
② 天板とタンクふたを外す。

I型手洗器付の場合、手洗器・手洗排水セットを一緒に外してください。

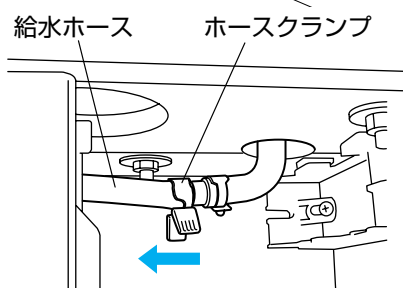
＜I型の場合＞



＜L型の場合＞



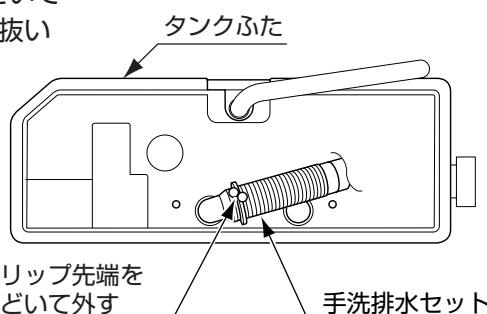
- ① I型手洗器付の場合、手洗器下の扉を開け、ホースクランプをゆるめてタンク側にずらし、給水ホースを外す。



- ② 天板を外す。

※I型手洗器付の場合、クリップ先端をほどいて外し、手洗排水セットをタンクふたから抜いてください。

※面ファスナーで固定されていますので、持ち上げると外せます。



図はI型手洗器付の場合

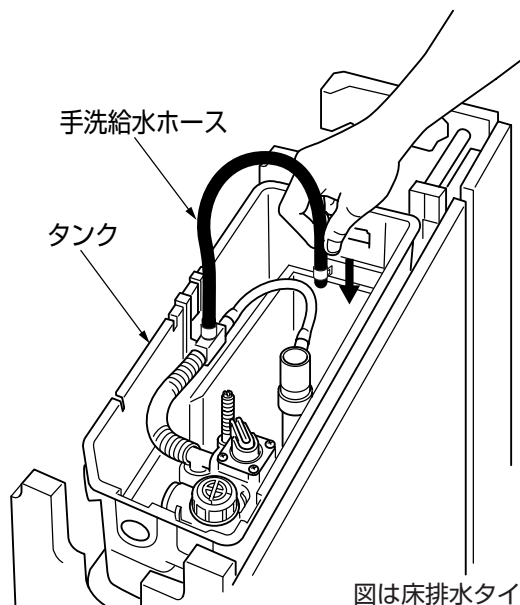
- ③ タンクふたを外す。

故障かなと思ったら
(つづき)

- ③ 下図のように手洗給水ホースを下向きにしてタンク内に差し込む。(I型手洗器付の場合)

※吐水させたときに、水が給水管先端からタンク外にこぼれ、床等をぬらすことがありますので、ご注意ください。

- ④ 止水栓を開けて付属の止水栓ハンドルまたはマイナスドライバーで左に回す)、タンクに給水させて、その時の状態を確認する。

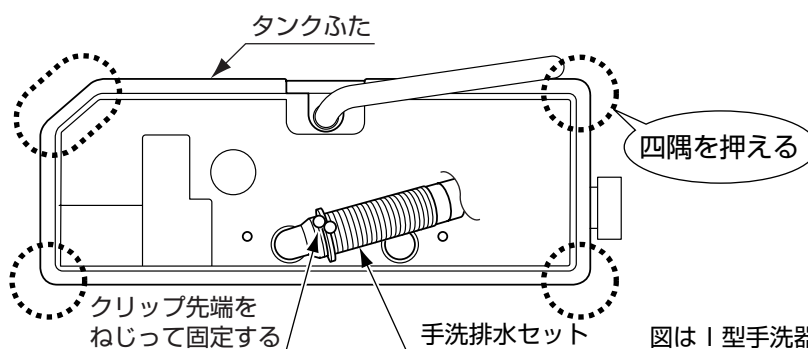


図は床排水タイプ (I型手洗器付) の場合

- ⑤ 確認が済みましたらいったん止水栓を閉め、下記の手順で元の状態に戻してください。その後、止水栓を開けてご使用ください。

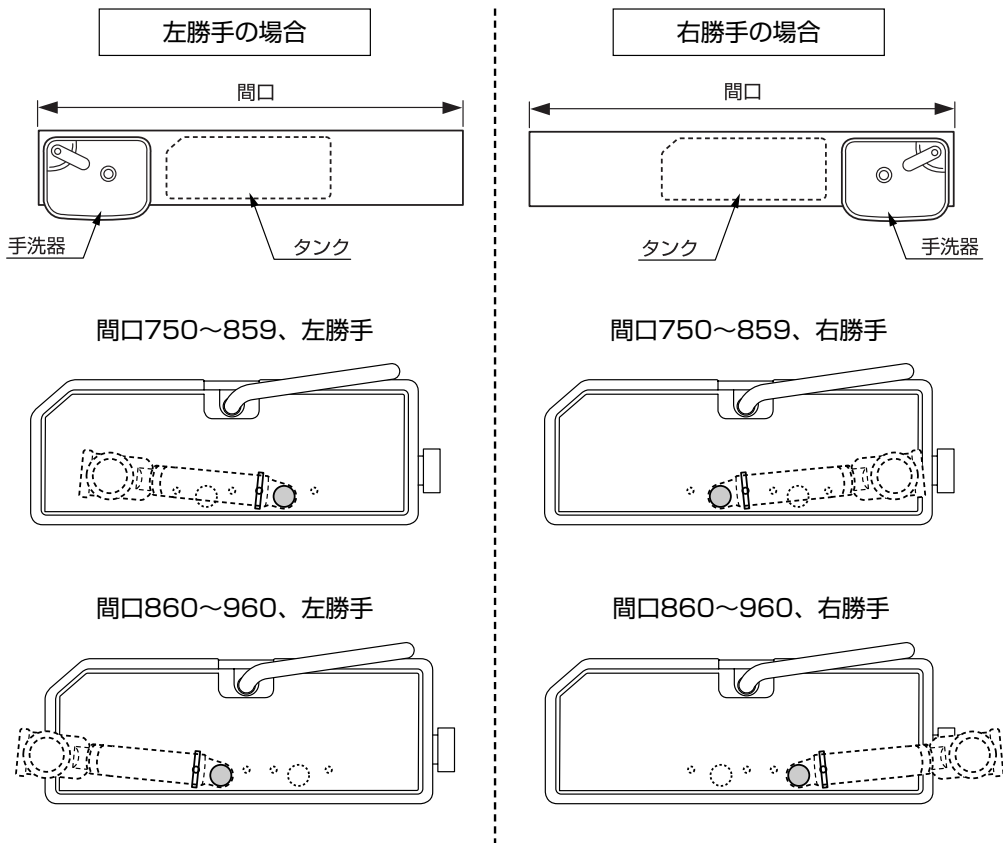
給水・排水の接続の際は、漏水することがないように、十分ご注意のうえお取り付けください。

- ① タンクふた全周を押さえつけるようにして、タンクに取り付ける。
② I型手洗器付の場合、タンクふたを取り付けた後、手洗排水セットの先端をタンクふたに差し込み、クリップで固定してください。

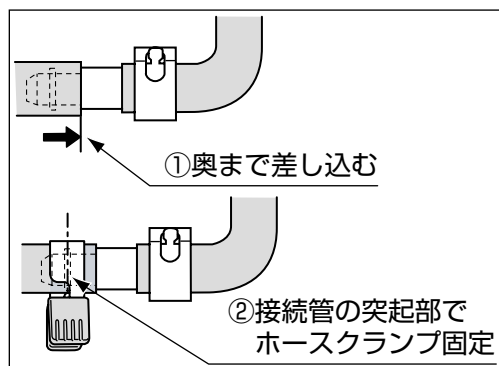
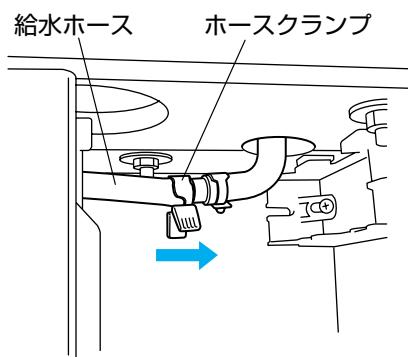


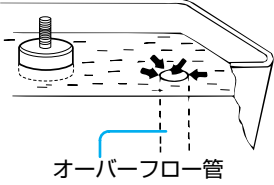
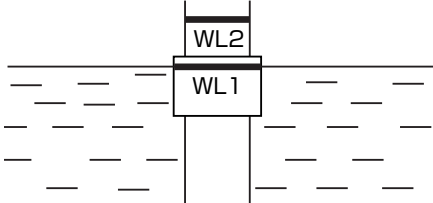
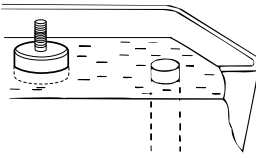
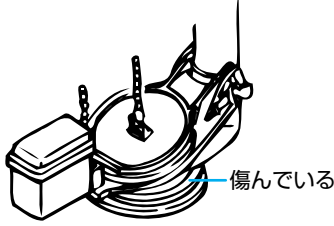
図はI型手洗器付の場合

手洗排水セットの先端を差し込む穴は次頁を参照してください。



- ③ 天板をキャビネットに固定する。
※上から強く押え、側板・前板・コアキャビネットに付いている面ファスナーとしっかりかみ合うように押し込む。
- ④ I型手洗器付の場合、手洗器下の扉を開け、給水ホースを接続する。
※ホースクランプでしっかり固定する。

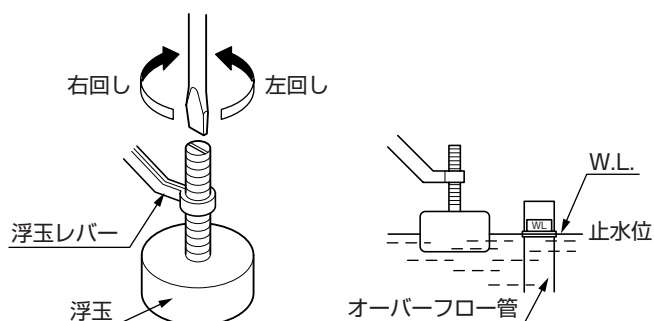


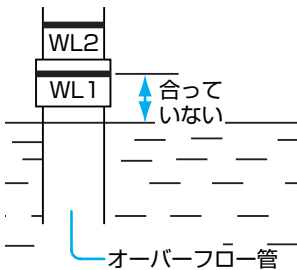
現 象	原 因	処 置
水が止まらない (1) あふれている 	ボールタップの弁座パッキンの摩耗などにより、止水位が高くなって生じることがあります。	止水位がオーバーフロー管のWL1のライン（標準水位）に合うように、ボールタップの水位調節部を操作してください。調節方法は下記「止水位が合っていないときは」をご覧ください。もし、この調整をしても直らないときは修理を依頼してください。 
(2) あふれていない 	排水弁のパッキンがいたんでいるために水がとまらないことがあります。 	パッキンは消耗品です。傷んだら新しいものと交換してください。パッキンを交換する場合には、36ページの要領で行ってください。

※部品の購入に関しましては、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター（0120-8282-55）へお問い合わせください。

■ 止水位が合っていないときは

- 浮玉をドライバーで回すか、又は手で持って回すと水位を上下させることができます。そのとき、浮玉レバーを軽く手で持っておくとスムーズに回せます。
- 水位を下げたいときは右方向に、水位を上げたいときは左方向に回してください。浮玉を上下させた量だけ水位が変わります。（1回転で約3mm上下します。）



現 象	原 因	処 置
便器の流れが悪い …止水位がオーバーフロー管のWL1のライン（標準水位）と合っていない 	止水位調整不良	33ページの要領で止水位を調整して下さい。
水が出ない …タンクに水がたまらない (ボールタップから吐水しない)	フィルターにごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開いてください。
水の出が悪い …タンクに水がたまるのが遅い (目安2分以上)	フィルターにごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をして下さい。それでも直らないときには修理を依頼してください。
水が漏れる 床と便器の間、および、キャビネット内部底板に水が漏れている	止水栓、給水管の結露 (結露は梅雨時期などに多く発生するもので故障ではありません)	乾いた布で拭きとって部屋の換気をしてください。
	上記以外	止水栓を閉めて修理を依頼してください。

※ 修理後の注意

- ① 止水栓を開き、キャビネット扉を元に戻してください。
(止水栓ハンドルを左に回す)
- ② 浮玉および排水弁がスムーズに動くか確認してください。

排水弁パッキンの交換

補修用部品

排水弁パッキン（大側） 品番：93844E

排水弁パッキン（小側） 品番：93843E

※排水弁パッキン交換の際は、大側、小側パッキンを一緒に交換してください。

※仕様・品番は改定する場合がありますのでご了承ください。

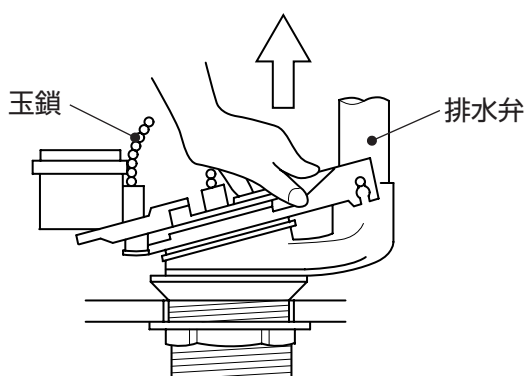
1 止水栓を閉めてからタンク内の水を流してください。

 22ページ〈大便器・ロータンク部〉 ■水を抜く場合 をご覧ください。

2 天板とタンクふたを外してください。

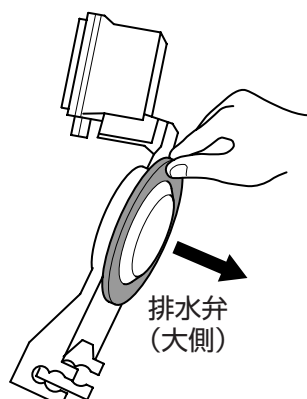
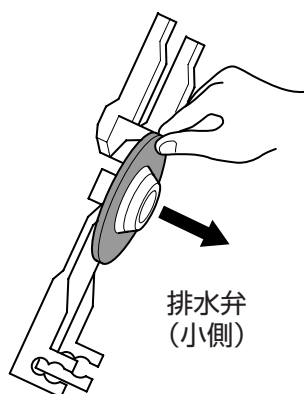
 31ページ ■修理を依頼される前に ②天板とタンクふたを外すをご覧ください。

3 排水弁を取り出してください。

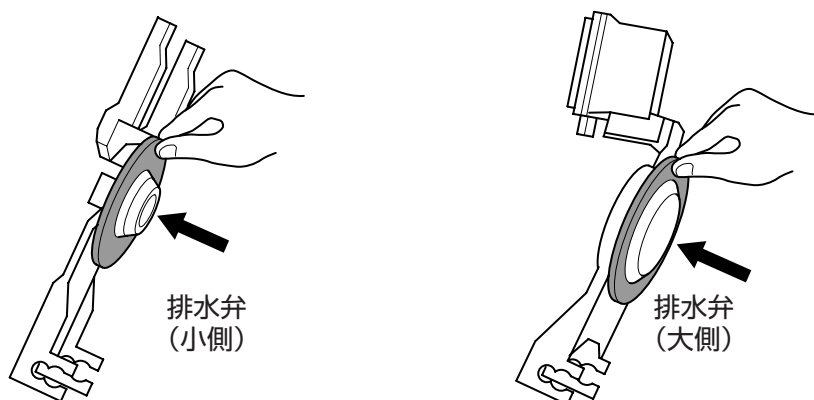


左図のように排水弁の根元を持ち、上向きに引き上げて外してください。

4 古いパッキンの端をつまんでめくるように外してください。



5 前項と逆の手順で新しいパッキンを取り付けてください。



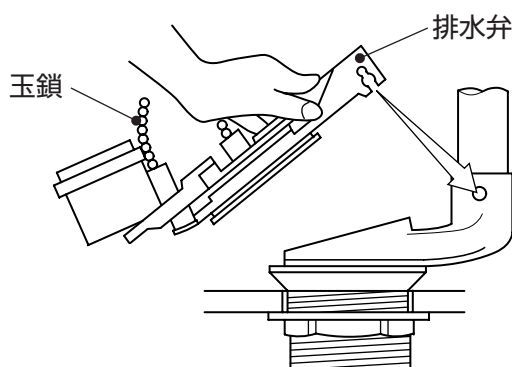
⚠ 警告



必ず守る

パッキン面にうねりやごみの付着がないように取り付ける
●うねりやごみの付着があると、止水不良になります。

6 排水弁、玉鎖が外れてしまった場合は止水不良となりますので正しく取り付けてください。



⚠ 警告



必ず守る

玉鎖が交差しないように取り付ける
●玉鎖が交差したり、排水弁が確実に差し込まれないと
止水不良になります。

7 タンクのふたと天板を元に戻してください。

8 止水栓を開き（止水栓ハンドルを左に回します）タンクに給水させて水が止まったことを確認してください。

〈手洗器部〉

現 象	原 因	処 置
水が出ない	自動水栓の場合、コネクターが差し込まれていない。	コネクターを差し込んでください。
	フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開けてください。
	自動水栓の場合、電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電中又は断水中である。	回復するまでお待ちください。
	自動水栓の場合、センサーの前に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	自動水栓の場合、センサーの表面が汚れている。	16ページの要領でセンサーの表面を掃除してください。
流量が少ない	フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が十分に開いていない。	15ページの要領でフィルター付止水栓を十分開くように調整する。
	水圧が低い。	分岐金具に内蔵している定流量弁をはずしてください。 (修理を依頼してください)
水が止まらない	自動水栓の場合、センサーの前に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	自動水栓の場合、センサーの表面が汚れている。	16ページの要領でセンサーの表面を掃除してください。

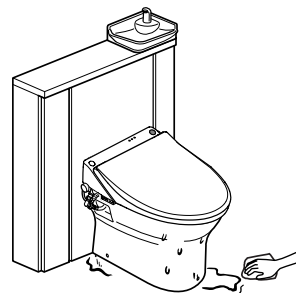
万一上記の箇所を調べてみても、止水しない場合は、フィルター付止水栓を閉めて修理を依頼してください。

10

便器のQ&A

■ 便器まわりにできる黒いシミの原因は？

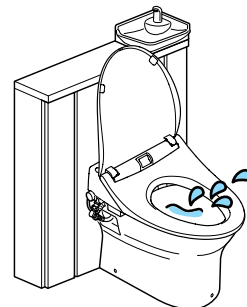
立位で小便をする際に、便器内のあたる場所によっては小便が跳ね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床では便器内で跳ね返った小便やお子様などが便器外に小便を飛散させたなどそのまま放置されると、小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。また、梅雨時の結露の水も放置されますと黒いシミが発生することがありますので、床にこぼれた水分は、すぐに拭き取るようにしてください。



■ トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。

汚物の形や量などによっては水がはねかえってくることがありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすわけにはいきません。汚物の形状は一定ではないため、完全にはなくせないのが現状です。水たまりにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと、多少おつりは予防できますので試してみてください。

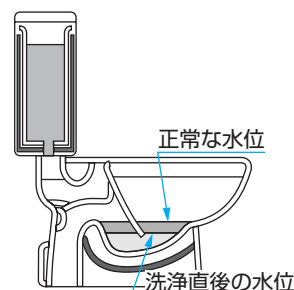


■ 便器内の黒い色やピンク色に変色する汚れの原因は？

便器の溜水部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れがつくことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの胞子や細菌が便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。

■ 便器洗浄後、なぜすぐに水は止まらないの？（床排水タイプのみ）

サイホン作用を利用する便器では、便器洗浄時にサイホンが起こり、便器に溜まった水がほとんどなくなってしまいます。このままの状態では臭気があがってきたり、次の洗浄のときに支障が出るため、元の位置まで水を戻しておく必要があります。そのためこのタイプの便器では、便器洗浄後約1分間水を補給するしくみになっております。



■ なぜタンクや便器の表面に水滴がつくの？

ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器やタンクも汗をかくことがあります。この汗を結露といいます。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。

※防露便器・防露タンクでも、室温と水温の差が15度以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。

■ 汚物排出後に「ゴボッゴボッ」と音がする原因は？(床排水タイプのみ)

サイホン作用を利用する便器では、便器内の水が汚物と一緒に排出される際に、空気も同時に引っ張ります。引っ張られた空気と便器内の水が交じり合った際に発生する音で、便器の異常ではありません。

参考) ストローでジュースを飲む場合、コップの底にたまったジュースを吸うときに「ジュジュ」と音がしますが、それもジュースと空気を同時に吸い込むために発生する音で、基本的には同じ現象です。

■ 便器内に汚物は付着しないの？

汚物の種類や粘性によっては、まれに便器ボウル内の乾燥面だけでなく、便器内の水がたまっているところにも汚物が付着する場合があります。また、便器の洗浄水だけでは洗い流せないことがあります。

■ 細かい汚物の残りはなくせないの？

汚物の種類（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によってはまれにですが、一度の洗浄では流れきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。

■ 立って小便をする場合のハネはなくせないの？

立って小便をする場合、小便がハネ、便器外へ飛び出すことがあります。便器内にたまった水などに小便が当たり発生するものです。

座って小便をすることで小便のはね返りを軽減することができます。

11 アフター サービス

【修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」(31ページ)をご確認ください!】

保証書(この説明書の43ページが保証書になっています。)

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、保証書をご確認ください。

保証について

- 保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼り付けラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

- 保障期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

(例: パッキン・ダイヤフラムなどの磨耗劣化部品の交換を含む)

→「修理を依頼されるときは」「修理料金について」(41ページ)をご確認ください。

部品の交換について

- 無料修理により取り外された部品・製品は、TOTO株式会社の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

- この商品の補修用性能部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造中止後10年です。
- ※水栓金具・ウォシュレット・電気温水器などの機器類は除きます。(専用の取扱説明書のある商品は、商品に付属の取扱説明書をご確認ください)
- ※扉などの面材につきましては、製造中止後2年の供給期間としております。供給期間経過後は代替品にて供給させていただきますのでご了承ください。
- ※商品のモデルチェンジ等により、予告なく商品を製造中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】

お求めのお取付店、販売店またはTOTOメンテナンス(株)(電話番号は裏表紙をご参照ください)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号 ②商品名 ③品番(6ページで示すラベルでご確認ください)
④購入日 ⑤故障内容、異常の状況(どこから水漏れしているかなど) ⑥訪問希望日

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTO(株)お客様相談室」または「TOTOメンテナンス(株)」(電話番号は裏表紙をご参照ください)

定期点検のおすすめ

- 逆止弁は3年毎に交換してください。
逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水が逆流するおそれがあります。
- ウォシュレットの逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響をおよぼす原因になります。)
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
なお、点検はTOTOメンテナンス(株)にご依頼ください。

お問い合わせ先

TOTOメンテナンス(株)修理受付センター

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受 付: 年中無休/受付時間 関東・甲信越地区 8:00~20:00

上記以外の地区 9:00~20:00

訪問修理: 年中無休(一部地域を除く)/営業時間 9:00~18:00

定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日 付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金について【TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合】

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理させていただきます。

修理料金は **技術料 + 部品代 + 訪問料** で構成されています。

ただし、補修用部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

仕様（自動水栓）

項目		内容
電源	源	AC100V 50/60Hz
消費電力	電	常時0.4W（作動時0.6W）
電源コード	コ	ビニルコード有効長 2.9m
給水圧力	必要給水圧力	0.05MPa（流動時）
	最高水圧	0.75MPa
周囲使用温度範囲		0℃～55℃
周囲使用湿度範囲		99%RH以下
感知距離		130～200mm（白紙300の場合） ※ただし学習方式による感知距離変化型 （セットアップされる陶器により自動で感知距離を設定します。）
流量調節		給水金具の定流量弁（2L/分）により上限カット。 必要に応じ止水栓にて流量調節可能



保証書

商品名称	レストパルSX		
品番	床排水タイプ UWS～ 壁排水タイプ UWP～		
基本保証	本体	取付日から2ヵ年	
	電気機器	取付日から1ヵ年	
お客様	おなまえ 様		
	おところ 〒		
取付店	〒 TEL — — ㊟		
取付日	年 月 日		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

取付日から左記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）、またはTOTOメンテナンス（株）（フリーダイヤルTEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02）に修理をご依頼ください。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。

なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

- ・保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
 - （1）適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - （2）弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、取扱説明書やホームページなどに掲載している以外の分解・修理、不当な改造などに起因する不具合。
 - （3）建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - （4）塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合。
 - （5）金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
 - （6）ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
 - （7）火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
 - （8）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
 - （9）一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - （10）部品（乾電池など）の消耗による不具合。
 - （11）日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのOリングやパッキン・ダイヤフラムなどの磨耗・劣化による不具合。
 - （12）砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
 - （13）水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
 - （14）凍結に起因する不具合。
 - （15）本書の提示がない場合。
 - （16）本書にお客様名、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印の記入のない場合。
- ・部品の交換について
無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)にお問い合わせください。

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

お客様相談室 TEL ☎ 0120-03-1010 FAX ☎ 0120-09-1010

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(31ページ)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店

〒

印

電話

—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）

※携帯電話・PHSからのご利用は……093-951-2526（有料）へ



修理のご用命は

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00

上記以外の地区 9:00～20:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品の
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

※携帯電話・PHSからのご利用は……093-952-8682（有料）へ

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。

詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>

UGX1008Y